

●モノグラフ

小学生ナウ

Vol. 11-4

## 三つの願い

### 目次

子ども研究ノート（その3） 子どもたちの心のうち ..... 2

### 調査レポート

## 三つの願い

要 約 ..... 8

はじめに ..... 10

### 1. どんな自分でありたいか

- サンプルのプロフィール ..... 11
- 勉強は得意か ..... 13
- 大学進学への希望 ..... 14
- 将来つきたい仕事 ..... 16
- どんな子になりたいか ..... 21

### 2. 三つの願い

- 魔法使いへのお願い ..... 27
- 学年・性別で ..... 33
- 成績との関連 ..... 36

### 3. おとなへのお願い

- お父さんへのお願い ..... 38
- お母さんへのお願い ..... 42
- 先生へのお願い ..... 47
- 総理大臣へのお願い ..... 50

### 4. 周囲の人びとへの不満

- 異性に対する不満と反発 ..... 51
- 両親から言われて傷ついた言葉 ..... 52
- まとめに代えて ..... 54

資料1 調査票見本 ..... 55

資料2 学年・性別集計表 ..... 62

\*おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。

子ども研究ノート（その3）

## 子どもたちの心のうち

静岡大学教授

深谷昌志

### ●体調の悪さを訴える子どもたち

本号では「三つの願い」というタイトルで子どもたちの心のうちを探ろうとしている。子どもたちがさまざまな願いを持っていると思うのだが、現代の子の願いは予想以上に狭く小さい。

もっとも、子どもたちの願いが矯小化するのも無理のない氣もする。なにしろ、このところ、ひよわな子どもたちが増加してきたといわれる。そして、子どもたちの体調の悪さを証明するデータはかなりの数に達する。

たしかに、小学校高学年生を対象としたモノグラフシリーズの調査でも、「乗り物に酔いやすい」について、「とても」の17%を含めて、「わりと」そう感じる子が33%に達する。また、「風邪をひきやすい」子も、「とても」の9%に「わりと」の14%を合計して23%と、4分の1に近い。

その他、「疲れやすい」(28%) や「すぐにあくびができる」(30%)、「朝、起きにくい」(44%) など、子どもなりの不定懸訴を感じてい

る結果が得られる。

しかも、こうした結果はサンプルをかえ、ワーディング（質問事項）に手を入れて、調査をくり返しても、同じような数値となってあらわれており、子どもたちの体調の悪さがかなり広まっているのがわかる。

何か月か前に、台湾映画「冬々の夏休み」<sup>トントン</sup>を見た。「悲情城市」などで評判をとっている侯孝賢監督の作品だが、夏休みに台北に住む冬々と妹が、祖父のいる郊外で友だちと自然に囲まれて生活を送るというストーリーである。

裸になって川で泳ぐ。雨にぬれながらいなかの道を歩く。そして汗をかきながら友だちと鬼ごっこをする。こうした情景を描きだすスクリーンを見ながら、現代の日本の人たちの生活から自然が失われているのを痛感した。

かつての子どもたちは自然の中で、たくさんの方に囲まれて毎日を送っていた。「冬の夏休み」的な生活は、日本の子どもたちの場合も、少なくとも昭和30年代まではごくふつ

うに見うけられたように思う。もちろん、多くの子は自然に囲まれて友だちと遊ぶ時間を十分に持っていた。そうした生活を送っていれば、疲れやだるさなどは子どもとも無縁のものとなろう。

### ●なんでもしてもらえる生活

現代の子どものまわりには冷暖房つきの部屋の中にマンガやテレビゲームがあり、キッチンへ行けば飲みたいものは豊富に揃っている。飢えやかわきを知らないのはもちろん、物の不足を感じたことのない生活である。

「モノグラフ・小学生ナウ」Vol. 10-9（都市環境の中の子どもたち）でも紹介したように、この十数年、子どもたちを対象とする比較調査を行うために、さまざまな国を訪ねてきた。そして、東京から飛行機でほんの数時間しか離れていない国にも、多くの子どもたちが学校へ通うことなく、労働に従事している姿があることを見聞きしてきた。

マニラやクアラルンプール、そしてニューデリー、さらにバンコクなどで、夜泊まるところのないストリート・チルドレンと呼ばれる状況の子どもたちを見るにつけて、子どもたちを貧しさから解放することの必要性を痛感した。

そしてそうしたアジアの子どもの立場からすると、日本の子どもの現在はすべてのことが可能になった理想郷のように思われるのではないか。しかし、残念ながら、現在の日本の子どもをとりまく状況は理想郷のように見えても、そこには、また新たな問題が発生している。

朝起きてから夜寝るまで安住できる家があり、親がいてくれるのはいいのだが、いつも親の目が行き届き、何でも世話をしてくれ。空腹になればスナックがでてくるし、文房具が不足すると何でも買っててくれる。自分

から何もしなくても、すべてのことをもらえる生活である。

家庭から外へ出ても、学校や学習塾、そしてけいこごとと、おとなたちの指導を受ける、あるいは、世話をしてもらう生活が続く。

そういうばあ、子どもたちのまわりに、テレビやマンガ、ラジカセ、テレビゲームなど、自分から働きかけなくても十分に楽しめる対象が揃っている。そうだとすれば、外へ行ってけんかをしながら、鬼ごっこやかくれんぼをするよりも、家の中でマンガを読んだりテレビゲームでもしているほうが、はるかにマイペースでのんびりと時を過ごせる。したがって、無理に外へでかける必要はない。

このように、親、そして先生などのおとなたちに世話をしてもらい、教室と子ども部屋の間を往復して、いわば巣籠りの生活の中で毎日を過ごす。しかも、こうした生活がたまたま1日というのではなく、何か月、さら何年と続いている。

家に籠ったまま、自分から何もすることなく、じっとしたまま過ごす生活であるから、食欲が低下し、風邪をひきやすくなり、けがをしやすくなってしまっても、ある程度まで当然のように思える。したがって、冒頭で紹介したような体調の悪さは予想される事態といえなくもない。そして、体調の悪さだけならば、規則正しい生活を送ったり、スポーツクラブへ行ったり、プールで泳ぐようにしたりすれば回復してしまう。

しかし、受け身の生活は、こうした体調の悪さ以外に、心の面での歪みさえもたらしているのだ。

### ●子どもたちの未来像の国際比較

諸外国を訪ねた折、子どもたちに、「大きくなったら何になりたいか」と尋ねることにしている。ソウルだとコンピュータの技師、台

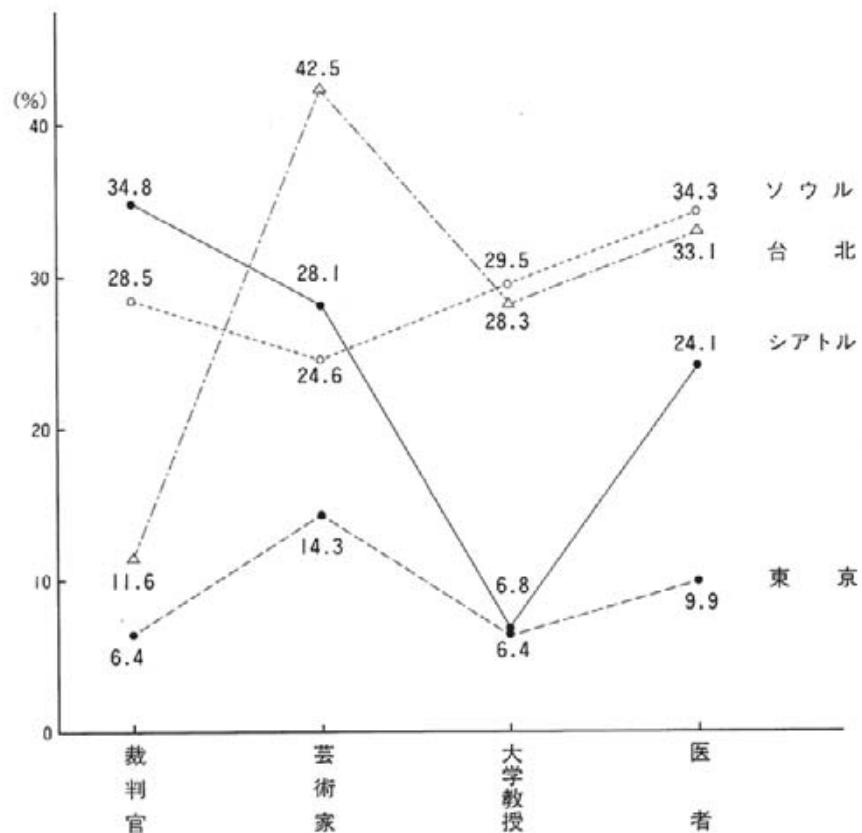
北は会社の社長、そしてニュージーランドのオークランドでは羊の治療をする獣医と、いかにもその社会らしさを反映した子どもたちの声が戻ってくる。

アメリカのロサンゼルスでは、長距離トラックの運転手、花屋、消防士などの声にまじって、大統領や市長、裁判官などにあこがれる子どもたちの姿がみられる。しかも、子どもたちにどうして大統領にあこがれるのかを尋ねると、「アメリカを住みやすい社会にするために」、あるいは「平和な社会を作るために」など、子どもなりに考えた回答が戻ってくる。

井上靖氏の自伝風の小説『あすなろ物語』のように、明日は桧になろうと未来に夢を抱くのが子どもらしさであろう。ある程度までの人生を歩んできたわれわれおとなと異なり、子どもは誰しも桧になる日を夢見る権利を持っている。少なくとも、どの子もかりに何万分の1にせよ、大統領や世界的なピアニスト、あるいは、ノーベル賞に輝く科学者になれる可能性を宿している。

換言するなら、子どもらしさとは、現在の自分はともあれ、未来の達成へ向けて意欲をもやす態度であろう。

図1 仕事につきたい割合



北は会社の社長、そしてニュージーランドのオークランドでは羊の治療をする獣医と、いかにもその社会らしさを反映した子どもたちの声が戻ってくる。

日本とアメリカの子供たちの将来像について

日本の子どもたちは何になりたいのかの問いに、「(とく) ベツニ(ない)」と答える。自由記述の形で、つきたい仕事を調べても、公務員やサラリーマンが並び、ビッグな目標が登場してこない。

日本の子どもたちは未来に意欲を抱いていない。これは、諸外国の子どもと比べ、かなりきわだった傾向なのではないか。そう考えて、未来像についての国際比較を行いたいと思うようになった。

図1に目を通してほしい。これは、いくつかの職種について、つきたいと思う子どもの割合を示している。アメリカの子どもは裁判官、ソウルの子どもは医者、そして台北の子どもは芸術家と、都市によってつきたい仕事に多少の開きが認められる。

しかし、こうした開きを越えて目につくのは、日本の子どもたちの達成意欲の低さであろう。そして、子どもたちにインタビューをした結果によると、ビッグな目標につきたくないというより、つけそうもない感じているのが心のうちのように思われる。ぼくの力では、医者や大学教授になれるわけがない。だから、高望みをせずに自分の力にあわせたマイペースの生活を送りたいという。

しかも、未来に対する見通しの暗さは、図1の他にも、将来の生活設計にもあらわれている。日本の子どもたちは、小学生のうちに仕事面での成功はおぼつかない、社会的に尊敬される人になるのはむずかしいと、閉ざされた未来を予感している。

### ●なぜ自分に自信を持てないか

それでは、日本の子どもたちはどうして未来が閉ざされていると思い、やる気を示さないのだろうか。

すでに述べた通り、子どもたちは豊かな情報化社会の中で、なにひとつ不足することな

く、しかも、親や教師にいろいろなことをしてもらって、自分から何もすることなしに生活している。こうした成長のスタイルが、子どもたちからやる気を奪ったのはたしかであろう。

しかし、同じように豊かな社会のアメリカで、子どもたちがやる気を見せていることを考えると、豊かさにやる気喪失のすべての原因を求めるのは無理のように思う。

アメリカで調査のためのプリテスト（事前調査）を行っていたとき、アンケート用紙に子どもたちが記入するのに立ち会った。ほんやり見ていると、「勉強が得意ですか」の問いで、「とても得意」とチェックをしている子どもが多い。

いうまでもなく、アメリカの学校は学力低下に悩んでおり、勉強の得意な子がそれほどいるはずがないのに、半数以上の子どもが得意だと答えている。しかも、自分に対するそうした肯定的な評価は、「スポーツが得意」や「親切さ」「やる気がある」などの面にも認められる。

### ●情報化社会の悪い一面が……

自己評価についての日米のこうした開きにおどろき、他の国の子どもの反応を含めて、自己像をまとめたのが、表1の結果である。

一目で明らかのように、日本の子どもたちはなぜか自分に自信を持つことができず、自分を駄目な人間だと思っている。

現在の自分に自信を抱けない。そうだとしたら、未来を夢見るなどは不可能に近いのだが、表1の自己評価の中から、日米に限って学業成績についての反応を示すと、図2の通りとなる。

図2の中で、客観的にみた場合、日本の子どもの反応のほうが正確なのはたしかである

日本とアメリカの子供たちの将来像について

う。そして、アメリカの子どもは、客観的に学力が劣っていても、子ども自身は自分をよくできる子と思っている。

したがって、見方によると、日本の子どもはクールに自分をみつめ、自分の力を冷静にとらえている。それに対し、アメリカの子ど

もは自分の力と無関係に夢想しているとみなすことができる。

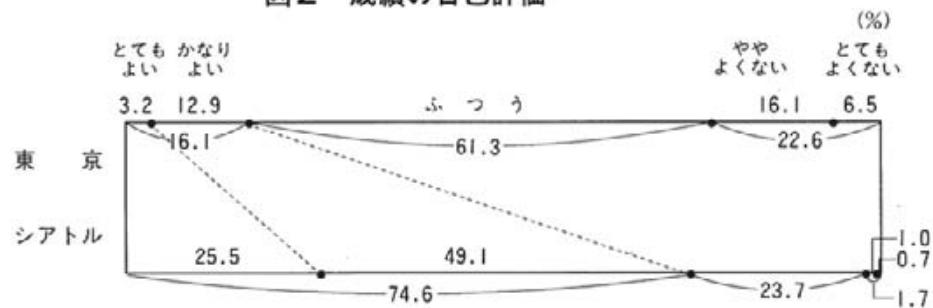
そう考えると、日米、というより、日本と欧米、そして時にはアジアとの間に横たわっている子ども像の違いは、子どもをどうとらえるかにかかってくる。

表1 子どもの自己像

	東京・仙台 ・岡山	ソウル	台北	シアトル・ ヒューストン
スポーツのうまい子	15.7	25.1	20.7	(37.5)
友だちから人気のある子	8.2	7.1	12.9	(28.0)
よく勉強のできる子	4.5	8.0	6.2	(34.7)
正直な子	8.8	18.0	13.4	(29.3)
親切な子	10.8	20.0	11.9	(34.0)
よく働く子	14.0	24.7	12.4	(36.7)
勇気のある子	15.8	23.9	14.8	(39.6)

( ) = 最大値 ——— = 最小値 「とてもあてはまる」割合

図2 成績の自己評価



つまり、子どもを夢みる存在としてみなすのは、かつての時代の子ども像が普遍的に存在するように思う錯覚なのかもしれない。そして、自分をクールにみつめるのが、これから子ども像と考えることはできる。

そうした可能性を考えて、1990年には調査対象を拡大して、ニュージーランドのウェリントンやバンコク、そしてロサンゼルスの郊外でも調査を行ってみた。しかし、その結果でも、他の地域の子どもは自信にあふれているのに、日本の子どもだけ、暗い自己像を抱いているのは、1回目の調査とまったく同じだった。

1991年からは、北京やストックホルムでの調査を計画しており、もう少し調査対象を広げる予定だが、いずれにせよ、われわれは自信を失った子どもたちの姿に慣れてはいけないのであって、もっと問題を感じる必要があるよう思う。

おとの快適さを基準に、おとながら見た  
好ましい子ども像を求めて、おとなたちは子  
どもをしつけてきた。その結果、おとな好み  
の子どもは育ったものの、子どもたちは子ど  
もらしさをなくしている。

子どもは小さなおとなではない。子どもはその年齢なりの発達課題をふまえて成長していく。こうした原則をふまえずにおとな化を

急ぐと、子どもたちは本来持っているはずのエネルギーを失ってしまうことになる。

#### ●子どもたちを特別扱いするな

考えてみると対応策は平凡なことだ。ハードな勉強は青年期以降の課題として、小学生ぐらいの間は、友だちと外で遊びまわる時間を十分に与える。そして、家庭では子どもを客扱いすることなしに、家庭の構成員として家事などに参加させる。さらに、学校では、子どもたちひとりひとりの個性を尊重し、学校をもう少し楽しい生活の場とする。

つまり、おとの目のを通じてでなく、おとの社会と別の子どもの背の高さに応じたチャイルド・スケールの社会を子どもたちに保障する。そうすれば、放っておいても、子どもたちの体調は好転し、子どもたちの意欲も戻ってこよう。

子どもたちは本来たくましい存在なのであるから、こうした可能性を信じたい。

要は、おとなたちが子どもの状況に問題を感じて、適切な対策をとれるかどうかであろう。

本稿は「夢を失くした日本の子どもたち」『知識』1991年1月号を加筆・補筆したものである。

# 調査レポート

## 三つの願い

### 要 約

埼玉県立小川高校教諭 三枝恵子  
東京学芸大学教授 深谷和子

#### 1. いつまで学校に通いたいか

大学まで進学したいと考えている子は77%もいるが、  
その中でも〇〇大学に入りたいと名前までをあげる子は、  
男子で27%、女子で15%である。（図3、図4）



#### 2. つきたい職業

子どもが最も将来なりたい職業は、「芸能人・芸術家・スポーツ選手」で男子の34%、女子の39%がそれを望んでいる。（図5）

#### 3. 自分自身への願い

「もっと勉強ができる子に」「がんばる子に」「人前でしっかり発表のできる子に」など、学業達成への願いが上位3位を占める（図6）。また、自分自身への願いは「丈夫な子に」「強い子に」以外は、男子より女子の願いが大きい（図7）。また男子で成績のいい子は、ほとんどの項目で達成欲求が強いが、女子はバラツキがある。（表9）

#### ●調査概要

1. 調査主題 三つの願い
2. 調査視点 飽食の時代、豊かな時代と言われる現在、子どもたちが何を望み、何を欲しているのかについて「3つの願い」と

いう手法を用いて、子どもたちの心のうちを探ってみる。

3. 調査項目 魔法使いへのお願い、お父さんへのお願い、お母さんへのお願い、先生へのお願い、総理大臣へのお願い、異性への不満、両親から言われて傷ついた言葉、

#### 4. 魔法使いへのお願い

子どもが魔法使いにお願いしたいことは、①魔法使いになりたい、空をとびたい等の空想的なこと(29%)、②おこづかいや物がほしい(18%)、③抽象的な願い(世界平和、死にたくない等)(13%)で、3位以下を大きく引き離している。(図8)



#### 5. 両親への願い

父親には「もっとお金持ちになって」、母親には「もっとおこづかいをください」で、両親へのお願いや要求は、多くの項目で女子より男子のほうが強くもっている。(図9～12)

#### 6. 先生へのお願い

「宿題をへらして」「ひいきしないで」が上位にきているが、これも男子のほうが多く望んでいる。(図13、図14)

#### 7. 異性への不満

男子のほうが（強くなった）女子に哀願しているかのような願い（例「乱暴しないで」）が見いだされる。(表23、表24)

#### 8. 両親から言われて傷ついた言葉

親というものは、子どもの心の傷になるような言葉を、現代でも結構言っているようである。(表25、表26)

自分自身への願い、将来つきたい仕事、大学進学への希望、など。

4. 調査時期 1990年10月～12月
5. 調査対象 東京・神奈川・埼玉の小学4・5・6年生
6. 調査方法 学校通しによる質問紙調査

#### 7. サンプル数 (人)

学年／性	男 子	女 子	計
4 年	185	182	367
5 年	278	248	526
6 年	209	193	402
計	672	623	1,295



## はじめに

「3つの願い」とは、昔から小児科医、児童精神医学者などの間で、小さい子どもと面接する際に、1つはラポールを作る（心理的に距離を接近させ、親しい関係を作る）ため、もう1つは、子どものフラストレーション等を探るために使われてきた手法の1つである。

「もしも3つのお願いがかなうなら、何を願うか」。このテーマは童話の中によく出てくることを思い出す人も多いだろう。この質問

に、たいていの子は目を輝やかせて答える。その際に物をほしいと願う子は、本当に物がほしい場合もあるが、むしろ何かのフラストレーションや不幸、愛情の不足がある場合が多いと臨床経験から言い切る人もいる。

この手法を使って、飽食の時代、豊かな時代と名づけられている現在、子どもたちが何を望み、何を欲しているかについて探ろうとしたのが、このレポートの目的である。

# 1. どんな自分でありたいか



## ■ サンプルのプロフィール | | |

調査対象になった子どもたちは東京・神奈川・埼玉の小学校4・5・6年生1,295名である（表1）。

次に両親の就業状況を図1に示した。父親の職業は「勤めている」割合が最も高く73%、母親の職業は有職主婦が専業主婦を上回っているが、フルタイムで勤めているのは約2割に過ぎず、パートタイム勤務、店をやってい

る（手伝っている）を合わせると約3割、専業主婦は4割弱である。

調査地域は東京を中心神奈川・埼玉とも東京へ通勤可能な地域である。埼玉については通学範囲に私立中学がなく、高校受験になってから「進学」という問題を本人も家庭でも真剣に考えるようになる地域である。

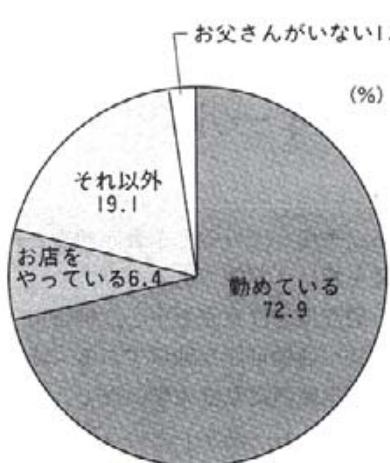
表1 サンプル数

(人)

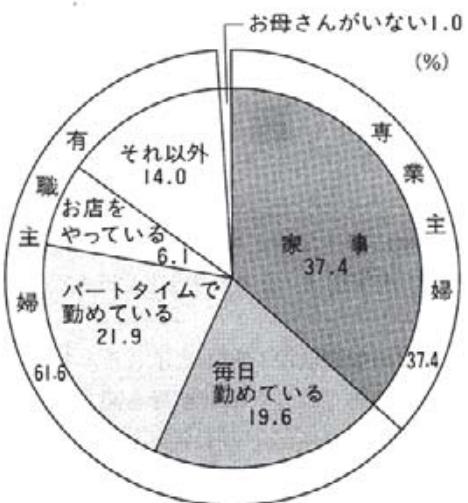
	男 子	女 子	合 計
4年生	185	182	367
5年生	278	248	526
6年生	209	193	402
合 計	672	623	1,295

図1両親の職業

〈父親の職業〉



〈母親の職業〉



## ■ 勉強は得意か III

最近の子どもたちにとって、セルフ・エスティームの中核をなすのは勉強の成績であることが折に触れて指摘されている。図2によると勉強の得意な子は、「とても・わりと得意」を合わせて約2割、「とても・少し苦手」と考えている子どもは約4割で、どちらかというと苦手意識をもつ子が多い。性別でみると表

2が示すように、男子で「とても得意」が5%、「とても・わりと得意」を合わせると19%。女子では「とても得意」はわずか2%、「とても・わりと得意」を合わせても15%に満たない。女子のほうがより低い数値を示しており、自信のない様子がうかがえる。

図2 勉強が得意か

とても 得意	わりと 得意	ふつう	少し苦手	とても苦手	(%)
3.5	13.6	45.1	23.8	14.0	

表2 勉強が得意か×性別

	とても 得意	わりと 得意	ふつう	少し苦手	とても苦手	(%)
男 子	4.8	14.4	43.4	22.7	14.7	
女 子	2.1	12.8	47.0	24.9	13.2	

## ■ 大学進学への希望 |||

学業成績の自己評価に自信を失いつつある傾向の中で、子どもたちの将来の進学希望は、どのようなものなのだろうか。図3は希望する学歴をたずねたものである。大学進学を希望する者は77%。そのうちすでに大学名まで決めている者が21%。また、性別でみたのが図4である。わずかに女子が下回っているものの、女子全体では75%が進学を希望している。しかし、具体的な大学名まで決めている者は男子27%、女子は15%とかなりの差がある。

もう少し数値を追ってみたい。表3、表4は将来入りたい大学を成績、性別の関連でみたものである。勉強が得意な子どもは入りたい大学も具体的に決まっているが、勉強の苦手な子どもは大学には入りたくないと考えている。この傾向は、とくに男子において明らかである。子どもたちにとって現在の成績の良し悪しは、人生に対するアスピレーションの形成に重要な要因の1つになっていることがわかる。

図3 将来入りたい大学

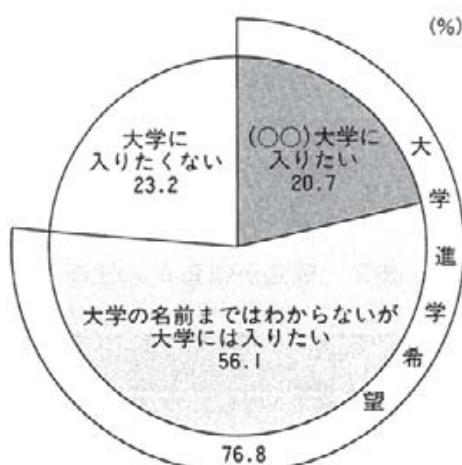


図4 将来入りたい大学

	(○○)大学に入りたい	大学の名前まではわからないが大学には入りたい	大学に入りたくない
男 子	26.6	51.8	21.6
女 子	14.5	60.7	24.8

表3 将来入りたい大学×成績

	とても・わりと得意	ふつう	とても・少し苦手	(%)
入りたい大学が決まっている	42.0	17.6	14.9	
大学の名前まではわからないが大学には入りたい	48.8	62.7	51.5	
大学に入りたくない	9.2	19.7	33.6	

表4 将来入りたい大学×成績・性別

	男 子			女 子			(%)
	とても・わりと得意	ふつう	とても・少し苦手	とても・わりと得意	ふつう	とても・少し苦手	
入りたい大学が決まっている	47.0	25.4	17.6	35.2	9.8	12.3	
大学の名前まではわからないが大学には入りたい	45.4	55.4	50.4	53.4	69.9	52.6	
大学に入りたくない	7.6	19.2	32.0	11.4	20.3	35.1	

## ■ 将来につきたい仕事 III

こうした状況の下で子どもたちは、将来の仕事にどんな希望をもっているのだろう。表5はおとなになったとき、つきたい仕事を自由に書いてもらったものである。(つきたい仕事の項目は子どもたちの表現で書かれたものをそのまま集計した)回答があったのは全体で48%、「(まだ) わからない」と答えた者が47%、無記入は約5%であった。

男子は、学年を問わずプロスポーツ選手に強いあこがれをもっている。とくに小学校4年生では約4割の男子が「なれるものならなってみたい」と思っている。6年生になると現実的感覚を身につけてくるのか多少数値は下がるもの、1位であることに変わりはない。女子の傾向は、保母・幼稚園の先生が各学年ともトップで、2位以下は看護婦・芸能人・学校の先生・マンガ家・デザイナー・ピアノの先生など。しかし、「夢」というより少し努力すれば現実につけるかもしれないビッ

グな仕事を夢みる者も多少はある。男子に比べより現実的ではあるが、バラエティに富む傾向が見られる。

表5で得られた結果を表6の職業分類表を用いて分類し、まとめたのが図5である。男子ではプロスポーツ選手を含む「芸能人・芸術家・スポーツ選手」を望む者が最も多く(34%)、「教職」「販売生産労働」「自営業」を志望する者は少ない(10%)。女子も同様に「芸能人・芸術家・スポーツ選手」を望む者が最も多く(39%)、次に保母・幼稚園・学校の先生など「教職」が多く(25%)を占めている。女子で上位を占めている職業は、女性でもそれなりにがんばればつける職業ではあるが、従来男子の分野といわれるような職業(弁護士・科学者・医師・管理職など)にあこがれる者は少なく、女性の職業進出の厳しさを感じているのかもしれない。

表5 おとなになってつきたい仕事

(1) 4年生

(人)

男 子	女 子
スポーツ選手 〔野球の選手 サッカーの選手 その他〕	保母・幼稚園の先生 看護婦 学校の先生
大工さん	スチュワーデス
サラリーマン	芸能人 (声優・タレント・歌手など)
おもちゃをつくる人	美容師
おまわりさん	ピアノの先生
パイロット	
大会社の社長	アナウンサー
学校の先生	医師
医師	ピアニスト
画家	
親の仕事を継ぐ	スポーツ選手 (新体操の選手 陸上の選手)
電車やダンプの運転手	婦人警官 絵描き(画家) マンガ家 小説家 デザイナー ケーキ屋さん 花屋さん
政治家	
文部省に勤めたい	
デザイナー	
宇宙飛行士	
お坊さん	
本屋を開く	
おもちゃ屋を開く	
すし屋	バスガイド
コック	
漁師	
花をつくる人	芸術家 科学者 裁判官 英語の仕事 税関の仕事 OL 本屋さん デパート コック 家事

(185人中88人が回答)

(182人中138人が回答)

表5 おとなになってつきたい仕事

(2) 5年生

(八)

男 子		女 子	
スポーツ選手	26	保母・幼稚園の先生	18
野球の選手	21	看護婦	11
サッカーの選手	3	芸能人（声優・タレントなど）	10
その他	2	マンガ家	10
弁護士	7	小説家	7
家（父）の仕事を継ぐ	7	デザイナー	5
科学者	6	ピアノ・エレクトーンの先生	4
一流企業の社長	6	学校の先生	4
タクシーの運転手	4	美容師	4
大工・建築業	4	画家（絵を描く人）	3
お金になる仕事	4	スチュワーデス	3
エンジニア	3	獣医	3
サラリーマン	3	人のためになる仕事	3
芸能人	3	本や花を売る店	3
宇宙飛行士	2	音楽関係の仕事	2
自転車の設計	2	犬の訓練	2
パイロット	2	警察・刑事	2
普通の人	2	ピアニスト	2
医師	2	科学者	1
公務員	2	一流企業に勤める	1
警察官	2	コンピュータ関係	1
マンガ家	1	社長になる	1
レストランのシェフ	1	O L	1
ゲームプログラマー	1	ジャーナリスト	1
銀行員	1	アナウンサー	1
生き物の飼育係	1	バレーの先生	1
ガキの相手の仕事	1	デパートに勤める	1
軍人	1	スポーツの選手（テニス）	1
鉄道に勤める	1	洋品店をする	1
おもちゃ屋をする	1	写真店をする	1
電気屋をする	1	店のレジ係	1
		動物と芸をする	1
		家事	1
		調理師	1
		建築士	1

(278人中97人が回答)

(248人中113人が回答)

表5 おとなになってつきたい仕事

(3) 6年生

(人)

男 子	女 子
スポーツ選手 野球の選手 サッカーの選手 その他 オリンピックの選手	保母・幼稚園の先生 学校の先生 芸能人 (歌手・女優・声優など)
サラリーマン	デザイナー
家の仕事を継ぐ	美容師
学校の先生	ピアノ・エレクトーンの先生
社長 医師	マンガ家
ファミコンショップ 一流企業の社長	アナウンサー 婦人警官
弁護士	看護婦
銀行員	ペットショップ
公務員	家事(専業主婦) 人に役に立つ人
カメラマン	通訳
ビアニスト	花屋をする
画家	獣医
パイロット	動物の飼育係
宇宙飛行士	一流企業の社長
騎手	コンピュータ関係
芸能人	スチュワーデス
観光ホテルの社長	O L
コンピュータ関係	公務員
天文学者	新聞記者
参議院議員	モデル
環境庁の長官	ピアニスト
刑事	シスター
旅行業者	サーフィンのピエロ
セールスマン	スタイリスト
ゲームマスター	ゴルフのキャディー
店長	魚をとる人
人のためになる仕事	医師 弁護士 科学者 薬剤師 スポーツ選手(シンクロ)

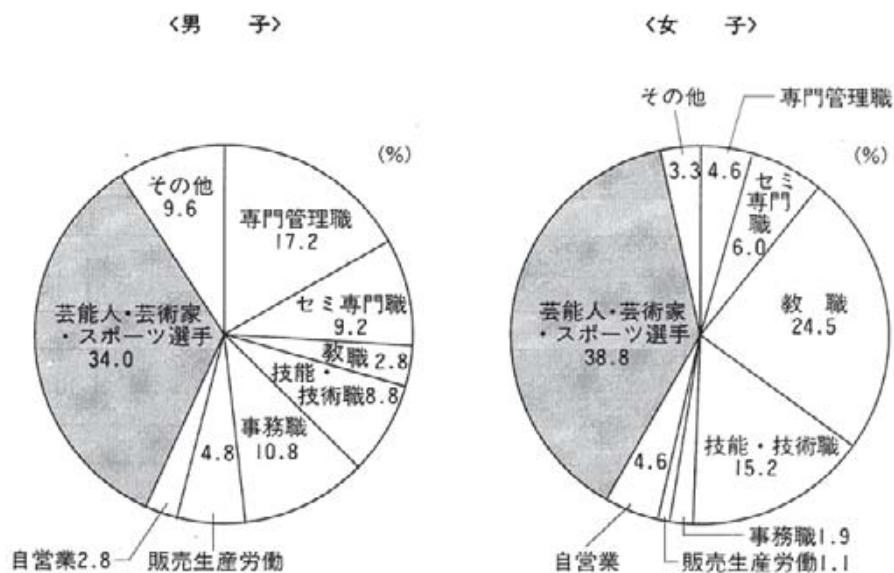
(209人中65人が回答)

(193人中117人が回答)

表6 職業の分類表

1. 専門管理職	大学教授・弁護士・医師・重役以上の管理職・国會議員・市長・科学者・政治家・裁判官・薬剤師など
2. セミ専門職	記者・技師・エンジニア・パイロット・宇宙飛行士・通訳・獣医・刑事・おまわりさん・カメラマン・建築士・神主・神父など
3. 教職	幼稚園、小学校、中学校、高校の先生・保母さんなど
4. 技能・技術職	美容師・大工・プログラマー・看護婦・コック・調理師・自転車修理・バスガイドなど
5. 事務職	サラリーマン・銀行員・O.L.・秘書・公務員・警察などの事務
6. 販売生産労働	セールスマン・運転手・店員・工場労働者・漁師・農業など
7. 自営業	小売業・小規模工場・本屋・花屋などのお店など
8. 芸能人・芸術家・スポーツ選手	マンガ家・ピアニスト・小説家・歌手・タレント・スタイリスト・デザイナー・スポーツ選手・スチュワーデス・アナウンサー・画家・ピアノの先生
9. その他	家事・人のためになる仕事・家業を継ぐなど

図5 おとなになってつきたい仕事×性別



## ■ どんな子になりたいか |||

さて子どもは、現在の自分にどんな不満をもっており、どんな子になりたいと願っているのか。いくつかの側面についてたずねたのが図6である。1位は「もっと勉強ができる子に」で、絶対なりたい子が58%、できればを合わせれば84%にも達する。2位は「がんばる子に」79%、3位が「人の前でしっかり発表ができる子に」78%と、いずれも学業的達成に関連した願いであることが、何ともいじらしい。

また図7によれば、「勉強ができる子に」「発表ができる子に」は、わずかながら女子のほうが願っており、他も多くの項目で、自分についての願いをもっている。男子が自分について女子より多く望むのは「体が丈夫な子に」「強い子に」の2項目である。

さらに学年差をみた表7によれば、学年と

共に減少してゆく願いは「発表のできる子に」「丈夫な子に」「強い子に」であり、こうした側面は多少とも成長につれて達成されてゆくのだろうか。それともあきらめか。また5年生から6年生にかけて、急に数値が上昇するのは「もっと顔がよくなりたい」「もっとやせたい」と思春期の悩みを示す内容のものとなっている。

また表8、表9では成績との関連をみている。男子はほとんどの項目で、成績がよい子のほうに自分の願い（絶対なりたい）すなわち達成意欲の強さが示されている。ただし成績下位群では「顔がよくなりたい」「やせたい」が多く、多少とも成績の性差を反映していることも考えられるが、それをふまえても興味のある結果である。

図6 なりたい子どものタイプ

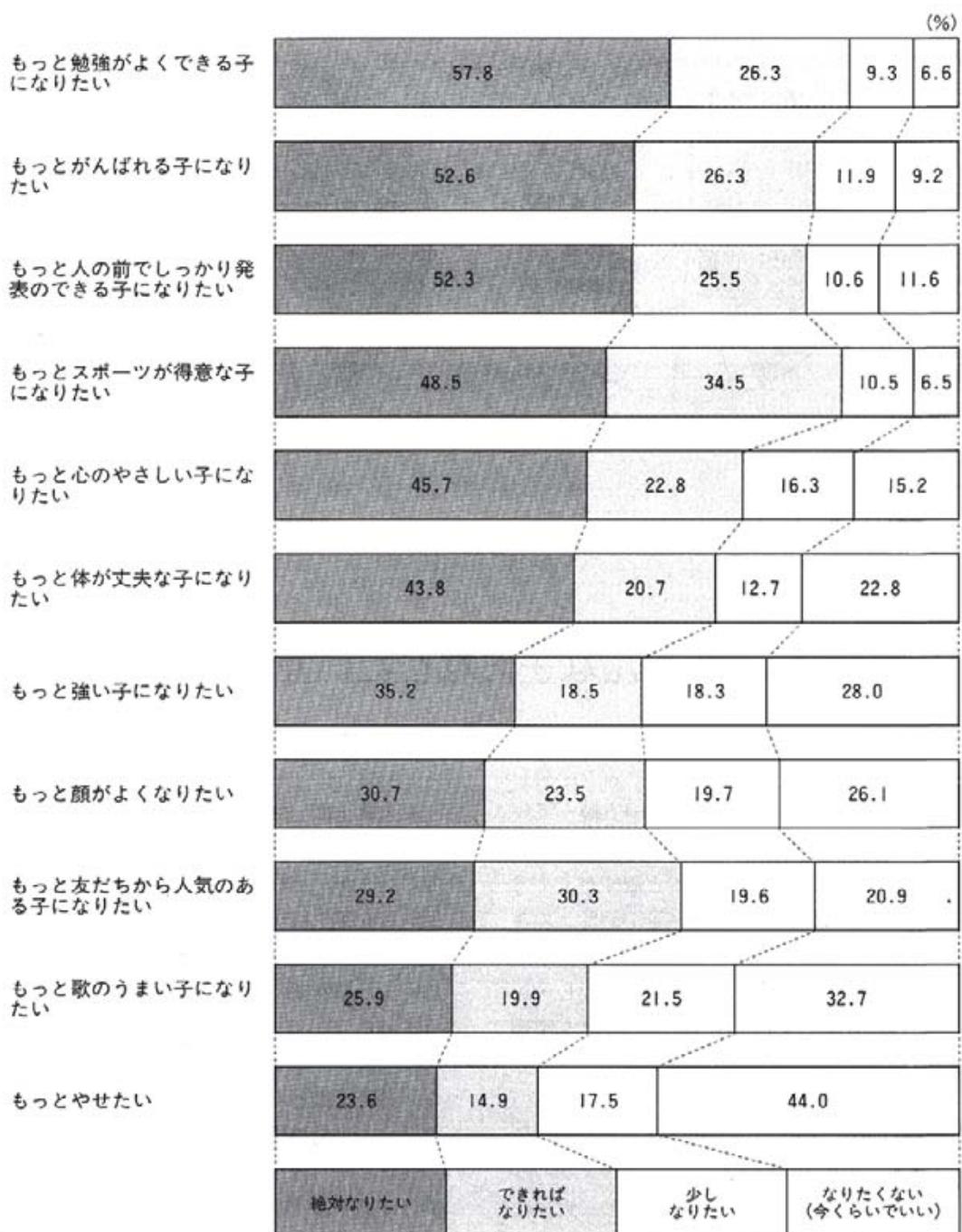


図7 どんな子になりたいか×性別

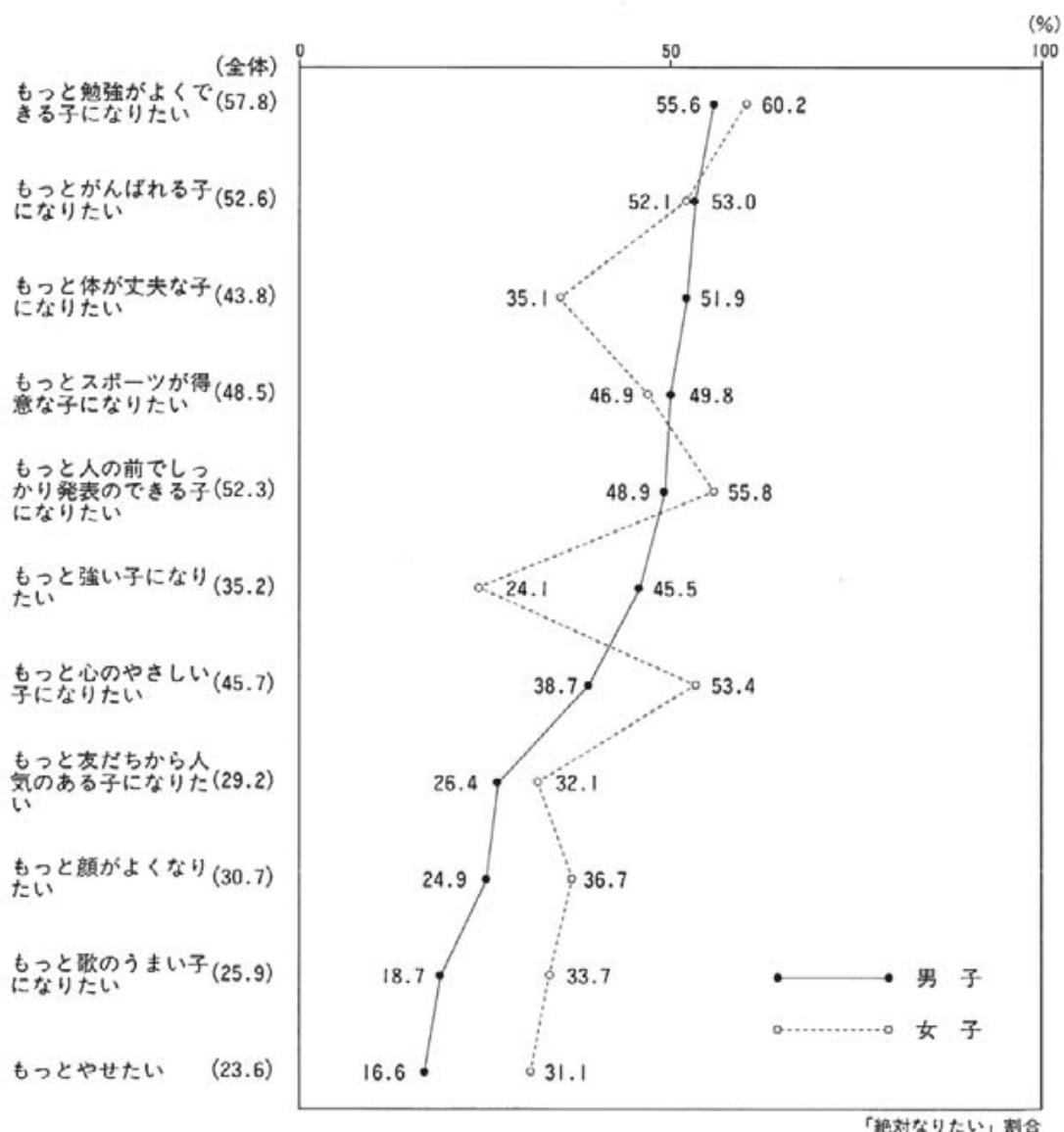


表7 どんな子になりたいか×学年

(%)

	4年生	5年生	6年生
もっと勉強がよくできる子になりたい	58.5	59.0	55.7
もっとがんばれる子になりたい	52.4	54.7	49.9
もっと人の前でしっかり発表のできる子になりたい	57.1	51.3	49.2
もっとスポーツが得意な子になりたい	48.8	47.3	49.7
もっと心のやさしい子になりたい	40.7	45.9	50.2
もっと体が丈夫な子になりたい	48.2	43.9	39.7
もっと強い子になりたい	39.8	33.1	33.6
もっと顔がよくなりたい	28.9	27.3	36.4
もっと友だちから人気のある子になりたい	27.7	29.4	30.2
もっと歌のうまい子になりたい	28.5	24.4	25.6
もっとやせたい	23.5	20.7	27.4

「絶対なりたい」割合

表8 どんな子になりたいか×成績

(%)

	とても・ わりと得意	ふつう	とても・ 少し苦手
もっと勉強がよくできる子になりたい	(65.7)	51.2	62.4
もっとがんばれる子になりたい	(59.2)	50.3	52.1
もっと人の前でしっかり発表のできる 子になりたい	55.3 ←	52.6	50.4
もっとスポーツが得意な子になりたい	53.9 ←	47.0	47.7
もっと心のやさしい子になりたい	(51.8)	41.9	47.3
もっと体が丈夫な子になりたい	47.2 ←	43.5	42.8
もっと強い子になりたい	41.6 ←	33.7	33.5
もっと顔がよくなりたい	33.2	26.7	(34.2)
もっと友だちから人気のある子になり たい	(37.0)	27.0	28.2
もっと歌のうまい子になりたい	(30.1)	24.4	25.4
もっとやせたい	23.1	20.1	(27.9)

「絶対なりたい」割合

表9 どんな子になりたいか×成績・性別

(%)

	男 子			女 子		
	とても・ わりと得意	ふつう	とても・ 少し苦手	とても・ わりと得意	ふつう	とても・ 少し苦手
もっと勉強がよくできる子になりたい	(67.7)	52.0	54.1	62.9	50.5	(71.1)
もっとがんばれる子になりたい	(63.0)	51.4	49.2	53.8	49.3	(55.1)
もっと人の前でしっかり発表のできる子になりたい	(59.1)	47.9	44.5	50.0	(57.2)	56.6
もっとスポーツが得意な子になりたい	(58.3)	49.1	46.2	47.8	44.8	(49.4)
もっと心のやさしい子になりたい	(51.2)	33.6	37.2	52.7	50.2	(57.9)
もっと体が丈夫な子になりたい	(54.0)	51.2	52.0	(38.0)	35.8	33.2
もっと強い子になりたい	(50.4)	44.4	43.7	(29.3)	23.4	23.0
もっと顔がよくなりたい	(29.0)	24.1	23.9	38.9	29.2	(45.1)
もっと友だちから人気のある子になりたい	(34.6)	25.0	23.5	(40.2)	28.9	33.2
もっと歌のうまい子になりたい	(19.7)	17.0	19.0	(44.6)	31.6	32.1
もっとやせたい	14.3	14.9	(19.2)	35.6	25.1	(37.1)

「絶対なりたい」割合

## 2. 三つの願い



### ■ 魔法使いへのお願い ||||

こうした自己像と自分への不満や期待の下で、子どもたちは自分や自分の生活が変わるものならどう変わりたいと思っているのだろう。

調査票では「もし魔法使いが本当にいて、あなたのお願い（ほしいものでも、なりたいものでも、行きたいところでも、したいことでも）を何でもかなえてくれるとしたら、あなたは何と何と何をお願いしますか。3つ書いてください」という形で聞いたものである。まず子どもたちが1番目に書いたお願いが図8である。また具体的な内容を表10にまとめた。

ここで2位以下を大きく引き離しているお願いは、「魔法使いになりたい」「かめはめ波にあいたい」「空をとびたい」などの非現実的、空想的なタイプのものである。これを「子どもらしい願い」と解釈してよいだろうか。

しかし、もしのどから手の出るほどほしい物や食べたい物、してみたいことが切実にあるならば、「願い」はもっと生活に密着した内容のものになるのではなかろうか。

しかし、さすがに2位は「おこづかいや物がほしい」となっているが、3位にはまた抽象的な内容がきている。「世界平和、交通事故にあいたくない、病気になりたくない、死にたくない」などで、争いや病気などのトラブルの回避が多い。健康上のトラブルも、ある年齢を迎えると、おとなたちには急に現実的な問題となる。しかし小学生の子どもにとっては、本来そうした問題は自分とは無縁のもの、起こるはずのない出来事、恐れる必要性を感じないテーマなのではなかろうか。最近の子どもが「汚れ」への耐性を失い、「不潔」を恐れるようになった傾向が指摘されてきている

が、若い生物としての積極性を失い、攻めよ  
り護りの姿勢を発達させている傾向が、ここ  
に現れているのかもしれない。

この傾向は1番目、2番目、3番目の3つ  
をまとめた表11でもほとんど同様の順位で見  
いだされる。

図8 1番目のお願い

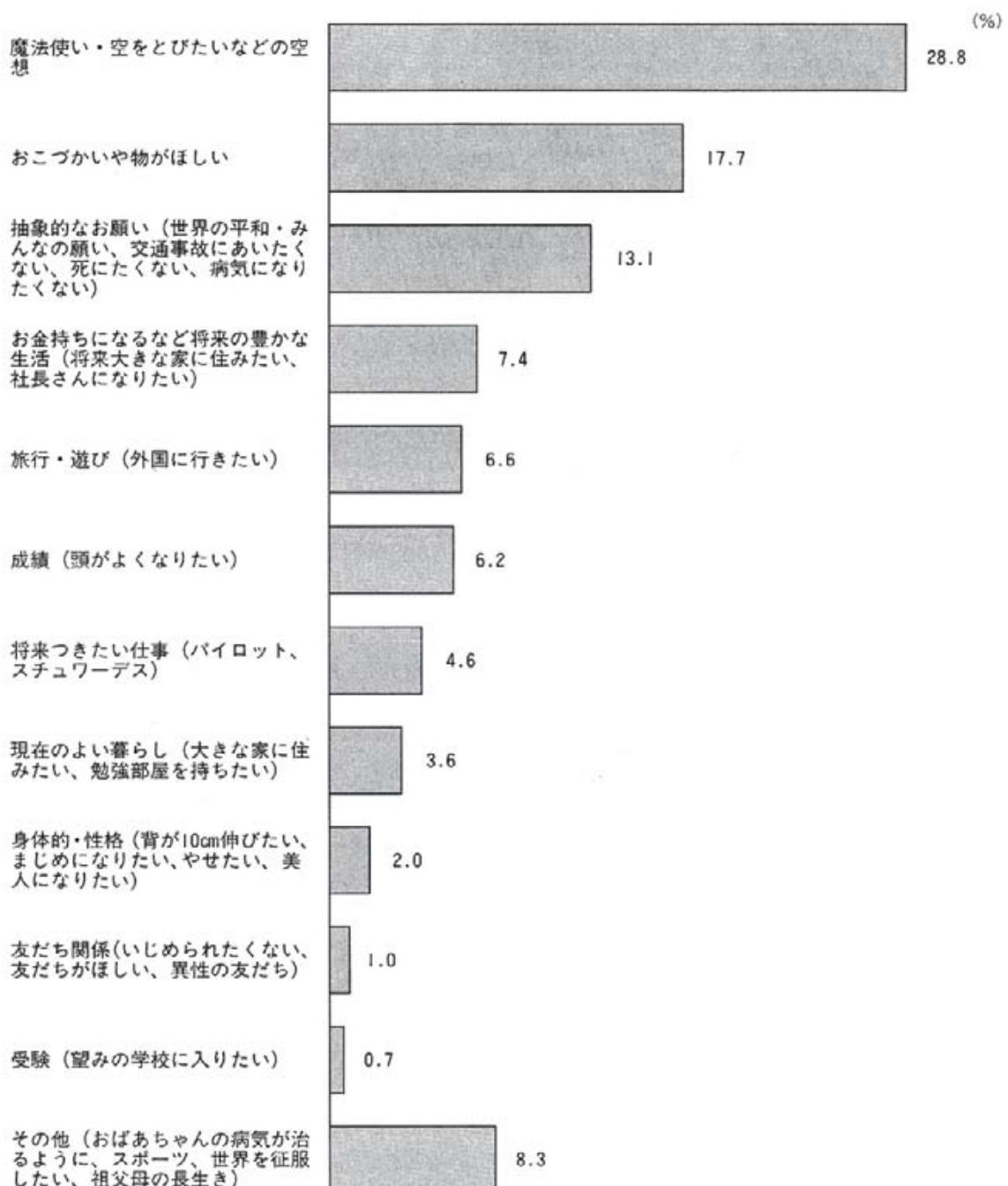


表10 3つのお願い（内容）

	男 子	女 子
魔法使い・空をとびたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドラえもんを出して召使いにする</li> <li>• 魔法を使えるように</li> <li>• エスパー（超能力者）にしてもらう</li> <li>• ドラえもんがほしい</li> <li>• 鳥になりたい</li> <li>• タイムマシンをもらう</li> <li>• ドラゴンボールの孫悟空になりたい</li> <li>• 天国に行きたい</li> <li>• もう一度生まれ変わりたい</li> <li>• 土星のリングを自転車で一周したい</li> <li>• ブラモデルを作って乗ってみたい</li> <li>• 空をとびたい</li> <li>• 未来を予知したい</li> <li>• バック・トゥ・ザ・フューチャーのデロリアンに乗りたい</li> <li>• 全宇宙がほしい</li> <li>• 空とぶ動物をペットにする</li> <li>• タイムスリップしたい</li> <li>• 天国に行ってまたもどってくる</li> <li>• 勉強をしなくともよい世界に</li> <li>• 变身ベルトで変身したい</li> <li>• 100回だけ願いをかなえてもらう</li> <li>• いくらお金を使っても減らない木</li> <li>• 幼稚園の頃にもどりたい</li> <li>• 速くて、大きな雲に乗る</li> <li>• 時間をとめることができるようになりたい</li> <li>• マンガの中に住みたい</li> <li>• 魔法使いの弟子にしてもらう</li> <li>• かめはめ波（マンガの主人公）にあいたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 魔法が使えるものを出してもらう</li> <li>• 空がとべるようになりたい</li> <li>• 虫のように小さくなりたい</li> <li>• 太陽に行ってみたい</li> <li>• 雲にのりたい</li> <li>• 外国にホウキに乗っていきたい</li> <li>• スヌーピーにあいたい</li> <li>• 未来に行ってみたい</li> <li>• 動物と話をしたい</li> <li>• 動物が洋服を着ている国に住みたい</li> <li>• 星や月にすわって空をながめたい</li> <li>• うさぎになりたい</li> <li>• お手伝いロボットを作りたい</li> <li>• クレヨン王国に行きたい</li> <li>• 星や月にさわってみたい</li> <li>• 過去の歴史上の人物と話がしたい</li> <li>• 夢が本当になりたい</li> <li>• 未来の自分にあいたい</li> <li>• 物語や童話の中に入りたい</li> <li>• 20歳くらいから年をとらない</li> <li>• 人の思っていること、考えていることが知りたい</li> <li>• 空を散歩したい</li> <li>• 本の世界に入りたい</li> <li>• ベガサスに乗って世界を周もしたい</li> <li>• 鳥のように自由に空をとびたい</li> <li>• どこでもドアがほしい</li> <li>• 時をストップさせたい</li> <li>• 過去にもどりたい</li> </ul>
おこづかい、物がほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お金がほしい</li> <li>• ポーイカセット</li> <li>• 電子手帳</li> <li>• 召使いがほしい</li> <li>• スーパーファミコン</li> <li>• たくさんのおこづかい（10万円くらい）</li> <li>• おいしい食べ物をいっぱい</li> <li>• 競馬が当たるように</li> <li>• ステーキが食べたい</li> <li>• 毎日おこづかいがほしい</li> <li>• 車（スーパーカー）がほしい</li> <li>• 昆虫の本がほしい</li> <li>• 犬がかいたい</li> <li>• 野球の高級なボール</li> <li>• 石油がほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 望遠鏡</li> <li>• うさぎやにわとり、犬などのペット</li> <li>• オルゴール</li> <li>• ピアノ、グランドピアノ</li> <li>• テレホンカード</li> <li>• 世界の料理を食べたい</li> <li>• ぬいぐるみ</li> <li>• 洋服、お姫様のドレス</li> <li>• ワープロ</li> <li>• 「買って」と言った物をすぐ買ってもらう</li> <li>• 自転車</li> <li>• かわいい洋服</li> </ul>
抽象的なお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界平和</li> <li>• 核爆弾をなくして</li> <li>• もっと自然を大切に</li> <li>• 公害をなくして</li> <li>• 永遠の命</li> <li>• 長生きできる薬</li> <li>• 殺人などの犯罪をなくして</li> <li>• 病気になりたくない</li> <li>• 不老不死のサイヤ人みたいに強くなりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 何の病気でも治る薬</li> <li>• 地球が平和になる</li> <li>• 世界が絶滅しないように</li> <li>• もう一つの命がほしい</li> <li>• 災害がなくなるように</li> <li>• はやくおとなになりたい</li> <li>• 器用になりたい</li> <li>• みんな元気でいてほしい</li> <li>• 家族が死なないように</li> </ul>

表10 3つのお願い（内容）

	男 子	女 子
抽象的なお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと文明を進めてほしい</li> <li>・公害をなくして</li> <li>・あぶないときに助けてもらう</li> <li>・すぐおとなにしてほしい</li> <li>・強くなりたい</li> <li>・永遠の若さがほしい</li> <li>・自由がほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早く高校生になりたい</li> <li>・世の中の人、だれも苦しまないように</li> <li>・100歳まで生きたい</li> <li>・永遠の命</li> <li>・不死身</li> </ul>
お金持ち、大きな家、将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金持ちになりたい</li> <li>・一流会社の社長</li> <li>・10,000坪の土地に家を建てたい</li> <li>・大会社の社長</li> <li>・勇者になりたい</li> <li>・ノーベル賞をとりたい</li> <li>・オリンピックで金メダルがほしい</li> <li>・ディズニーランドを乗つ取る</li> <li>・10階建ての家がほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金持ちになりたい</li> <li>・大金持ち</li> <li>・自分の将来を自分の思い通りにしたい</li> <li>・新しい家がほしい</li> <li>・外車に乗りたい</li> <li>・自分だけの家</li> <li>・世界一のお城</li> <li>・きれいなお城に住みたい</li> <li>・これから先の幸せ</li> <li>・別荘を持ちたい</li> </ul>
旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外に行きたい</li> <li>・オーストラリアに行きたい</li> <li>・世界一周に行きたい</li> <li>・大阪、北海道に行きたい</li> <li>・土星、火星に行きたい</li> <li>・月に行きたい</li> <li>・ハワイに行きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな所に行きたい</li> <li>・世界一周がしたい</li> <li>・ほかの星に行きたい</li> <li>・ハワイ、宇宙に行きたい</li> <li>・日本一周がしたい</li> <li>・温泉に行きたい</li> <li>・ディズニーランドに行きたい</li> <li>・ニューヨークに行きたい</li> <li>・家族でオランダに行きたい</li> <li>・パリに行きたい</li> </ul>
成績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭をよくしてほしい</li> <li>・天才に</li> <li>・算数の成績を上げてほしい</li> <li>・英検の5級が受かりたい</li> <li>・完璧な人間になりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強がもっとできるように</li> <li>・集中力をつけて</li> <li>・頭がよくなりたい</li> <li>・算数が得意に</li> <li>・英語を話せるように</li> <li>・字がうまくなりたい</li> <li>・通信簿、オール5または4</li> <li>・IQ300以上</li> <li>・テストが全部100点に</li> </ul>
将来の仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロ野球の選手、サッカーの選手</li> <li>・有名な建築家</li> <li>・いろいろ発明して人々に役立つ</li> <li>・科学者</li> <li>・坊さんになりたい</li> <li>・国會議員</li> <li>・手品師になりたい</li> <li>・F1ドライバー</li> <li>・文部大臣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花屋さん</li> <li>・スチュワーデス</li> <li>・幼稚園の先生</li> <li>・学校の先生</li> <li>・マンガ家</li> <li>・ピアニスト</li> <li>・歌手</li> <li>・ペットショップ</li> <li>・音楽家</li> <li>・有名人になりたい</li> <li>・アナウンサー</li> <li>・ピアノの先生</li> <li>・デザイナー</li> </ul>
大きな家など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地がほしい</li> <li>・自分の島に家を建てる</li> <li>・世界各地に別荘を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな家</li> <li>・一人部屋がほしい</li> <li>・「離れ」がほしい</li> </ul>

表10 3つのお願い（内容）

	男 子	女 子
勉強 部屋 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>• もっと広い部屋</li> <li>• 1000坪の広い家</li> <li>• 自分だけの部屋</li> <li>• たくさんの部屋と大きな庭のある家</li> <li>• プールのある家</li> <li>• お城みたいな家</li> <li>• 東京のマンションで一人暮らしを</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• きれいな家がほしい</li> <li>• 子どもだけの家がほしい</li> <li>• 部屋に日光が入らないので入れてほしい</li> <li>• お城がほしい</li> <li>• レストランのようにパーティーができる家がほしい</li> <li>• 家をきれいにしてほしい</li> <li>• 静岡に大きい家と広い庭をもらう</li> <li>• おばあちゃんと一緒に住みたい</li> </ul>
身体、性格	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身長が高くなりたい</li> <li>• 体力をつけて</li> <li>• 世界一運動神経をよくしたい</li> <li>• はじめになりたい</li> <li>• デブをなくしてほしい</li> <li>• 視力を0.1から1.0にしてほしい</li> <li>• ふとらないで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 美人になりたい</li> <li>• 世界一かわいくなりたい</li> <li>• 視力をよくする</li> <li>• やせたい</li> <li>• やさしい子になりたい</li> <li>• もっと性格をよくして、みんなから好かれるようになりたい</li> <li>• もっとかわいくなりたい</li> <li>• 美人で頭がいい人になりたい</li> <li>• スタイルがよくなりたい</li> <li>• 足をほそくしてほしい</li> </ul>
友だち	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の友だちに、ぼくよりちょっと背が低く、名高い人がいてほしい</li> <li>• 友だちと仲よくしたい</li> <li>• もっと友だちがほしい</li> <li>• 彼女がほしい</li> <li>• 両思いにしてほしい</li> <li>• バカにしてほしくない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 好きな人と両思いになる</li> <li>• 人に嫌われたくない</li> <li>• 人気者になりたい</li> <li>• 友だちにやさしくする</li> <li>• みんなと仲よくする</li> <li>• 世界中の人と仲よくする</li> <li>• 両思いにしてもらう</li> <li>• 友だちと仲よくしたい</li> <li>• もっと友だちがほしい</li> <li>• いじめられたくない</li> <li>• からかってほしくない</li> <li>• ○○君のお嫁さんに</li> </ul>
受験	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高校に入りたい</li> <li>• 音楽大学に入りたい</li> <li>• 外国に留学し、外国でいろいろな経験をしたい</li> <li>• 中学入試でどこまでも</li> <li>• 早稲田高校へ入りたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音楽大学に入りたい</li> <li>• 受験に合格したい</li> <li>• いい大学に入りたい</li> <li>• そろばんの検定に受かりたい</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あの世に行きたい</li> <li>• 世界を征服したい</li> <li>• サッカーの選手にしてほしい</li> <li>• 家族が長生きできるように</li> <li>• お父さんとお母さんがやさしくなるように</li> <li>• 甲子園に出たい</li> <li>• ずっと学校が休みになるように</li> <li>• 祖父母を生き返らせる</li> <li>• ブラジルでサッカーがしたい</li> <li>• 学校をきれいにしてほしい</li> <li>• 世界中の英雄になりたい</li> <li>• 天皇陛下になりたい</li> <li>• 世界の王になりたい</li> <li>• ピラミッドで死にたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家族が健康でいられますように</li> <li>• 早く結婚したい</li> <li>• お父さんとお母さんに長生きしてほしい</li> <li>• 運動神経がよくなりたい</li> <li>• 親がけんかしないで</li> <li>• 家族と楽しく生活したい</li> <li>• かぜをひかないおとなになりたい</li> <li>• おばあちゃんの足を治したい</li> <li>• 学校から出ていった先生に帰ってほしい</li> <li>• 格闘技が強くなりたい</li> <li>• 運動神経がよくなる薬がほしい</li> <li>• 動物と人間が仲よく住みたい</li> </ul>

表11 3つのお願い（1、2、3位）

(%)

	1番目	2番目	3番目
魔法使い・空をとびたいなどの空想	28.8	21.7	24.9
おこづかいや物がほしい	17.7	19.1	14.6
抽象的なお願い（世界の平和・みんなの願い、交通事故にあいたくない、死にたくない、病気になりたくない）	13.1	14.2	15.9
お金持ちになるなど将来の豊かな生活（将来大きな家に住みたい、社長さんになりたい）	7.4	7.8	5.7
旅行・遊び（外国に行きたい）	6.6	8.7	7.7
成績（頭がよくなりたい）	6.2	5.8	6.3
将来つきたい仕事（パイロット、スチュワーデス）	4.6	3.8	2.7
現在のよい暮らし（大きな家に住みたい、勉強部屋を持ちたい）	3.6	5.5	5.6
身体的・性格（背が10cm伸びたい、はじめになりたい、やせたい、美人になりたい）	2.0	3.0	4.3
友だち関係（いじめられたくない、友だちがほしい、異性の友だち）	1.0	1.0	2.0
受験（望みの学校に入りたい）	0.7	0.5	0.2
その他（おばあちゃんの病気が治るように、スポーツ、世界を征服したい、祖父母の長生き）	8.3	8.9	10.1

## ■ 学年・性別で III

次に、これを学年と性別で見てみよう。通常のアンケート方式のように○をつけさせる形でなく、オープン・アンサー（自由に記入させる方法）の部分なので、集計は全て手集計で行われた。その感覚が伝わるように%ではなく人数で表示してみた。男子と女子の反応数の合計は、男子が1,881個、女子が1,761個とほぼ等しいので、数値をほぼそのまま比較できる（表12）。まず男子に多い願いは「おこづかいや物がほしい」「将来の豊かな生活（大きな家に住む、社長になる等）」であり、逆に女子は「旅行や遊び（外国へ行きたい）」「よい暮らし（大きな家に住みたい、勉強部屋がほしい等）」「身体や性格的なこと（背が高くなりたい、美人になりたい等）」「よい友人関係（いじめられたくない、友人がほしい等）」であって、なんとなくわかる気のする結果である。女子のほうが現在の生活への適応に熱心な傾向を示すともいえそうだ。

次に表13は、学年差をしたものである。（表1で掲げたように）全体の人数は4年生367人、5年生526人、6年生402人と、4年生がやや少なく5年生が多いので、その人数をも

勘案しながら数値を見てゆくと、5年生と比較して6年生で多くなっているのは「空想的なこと」「身体的・性格的願望」である。思春期に入って発達が加速され、とくに性的成熟に向かう時期なので、身体への意識が高まる点が1つ。また「空想的な傾向の増加」は、中学受験を前にして勉強量もふえ、一種の現実逃避と解釈することもできそうだ。

また4年生から5年生にかけて逆に減少する項目は「旅行・遊び」の欲求、「将来につきたい仕事」への夢のようである。

次に表14は、性別ごとに学年による差をみたものである。サンプル数が5年生に多い点を勘案した不等号の方向をみると、先にみた6年生で空想的願望が高まる傾向は男子の間に見いだされること、旅行や遊びへの欲求が4年生から5年生にかけて減る傾向は、男女共に見いだされ、同じく身体的・性格的願望も男女共に、5年生から6年生にかけて増加する傾向が見いだされる。また女子に特徴的な傾向（現在のよい暮らし、身体的・性格的願望、よい友人関係）は、主として5年生から6年生にかけて顕著になる点もわかる。

表12 3つのお願い×性別（1位～3位）

(人)

	全 体	男 子	女 子
魔法使い・空をとびたいなどの空想	919	476	443
おこづかいや物がほしい	627	342 >	285
抽象的なお願い（世界の平和・みんなの願い、交通事故にあいたくない、死にたくない、病気になりたくない）	523	282	241
旅行・遊び（外国に行きたい）	279	124 <	155
お金持ちになるなど将来の豊かな生活（将来大きな家に住みたい、社長さんになりたい）	255	175 >	80
成績（頭がよくなりたい）	223	112	111
現在のよい暮らし（大きな家に住みたい、勉強部屋を持ちたい）	177	76 <	101
将来つきたい仕事（パイロット、スチュワーデス）	136	62	74
身体的・性格（背が10cm伸びたい、まじめになりたい、やせたい、美人になりたい）	113	48 <	65
友だち関係（いじめられたくない、友だちがほしい、異性の友だち）	48	4 <	44
受験（望みの学校に入りたい）	17	10	7
その他（おばあちゃんの病気が治るように、スポーツ、世界を征服したい、祖父母の長生き）	325	170	155
計	3,642	1,881	1,761

表13 3つのお願い×学年

(人)

	全 体	4 年生	5 年生	6 年生
魔法使い・空をとびたいなどの空想	919	232	339 <	348
おこづかいや物がほしい	627	172	271	184
抽象的なお願い（世界の平和・みんなの願い、交通事故にあいたくない、死にたくない、病気になりたくない）	523	87	264	172
旅行・遊び（外国に行きたい）	279	114 >	103	62
お金持ちになるなど将来の豊かな生活（将来大きな家に住みたい、社長さんになりたい）	255	69	94 <	92
成績（頭がよくなりたい）	223	62	105	56
現在のよい暮らし（大きな家に住みたい、勉強部屋を持ちたい）	177	57	65	55
将来つきたい仕事（パイロット、スチュワーデス）	136	59 >	49	28
身体的・性格（背が10cm伸びたい、まじめになりたい、やせたい、美人になりたい）	113	34	32 <	47
友だち関係（いじめられたくない、友だちがほしい、異性の友だち）	48	15	16 <	17
受験（望みの学校に入りたい）	17	6	4	7
その他（おばあちゃんの病気が治るように、スポーツ、世界を征服したい、祖父母の長生き）	325	112	135	78
計	3,642	1,019	1,477	1,146

&gt;&lt;はサンプル数を勘案しての大小

表14 3つのお願い×学年・性別

(人)

	全 体	男 子			女 子		
		4 年 生	5 年 生	6 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生
魔法使い・空をとびたいなどの空想	919	102	187	< 187	130	152	> 161
おこづかいや物がほしい	627	107	139	96	65	132	88
抽象的なお願い（世界の平和・みんなの願い、交通事故にあいたくない、死にたくない、病気になりたくない）	523	48	137	97	39	127	75
旅行・遊び（外国に行きたい）	279	49	> 46	29	65	> 57	33
お金持ちになるなど将来の豊かな生活（将来大きな家に住みたい、社長さんになりたい）	255	42	66	< 67	27	28	25
成績（頭がよくなりたい）	223	34	52	26	28	53	30
現在のよい暮らし（大きな家に住みたい、勉強部屋を持ちたい）	177	19	36	21	38	29	< 34
将来つきたい仕事（パイロット、スチュワーデス）	136	28	26	8	31	23	20
身体的・性格（背が10cm伸びたい、はじめになりたい、やせたい、美人になりたい）	113	18	12	< 18	16	20	< 29
友だち関係（いじめられたくない、友だちがほしい、異性の友だち）	48	1	1	2	14	15	< 15
受験（望みの学校に入りたい）	17	2	4	4	4	0	3
その他（おばあちゃんの病気が治るように、スポーツ、世界を征服したい、祖父母の長生き）	325	57	69	44	55	66	34

&gt;&lt;はサンプル数を勘案しての大小

## ■ 成績との関連 III

次に成績との関連で見てゆくと、表15に掲げたように、とくに女子に成績との関連がよ

く表れている。成績がよくなるにつれ「抽象的な願い」「将来つきたい仕事」「よい友人関

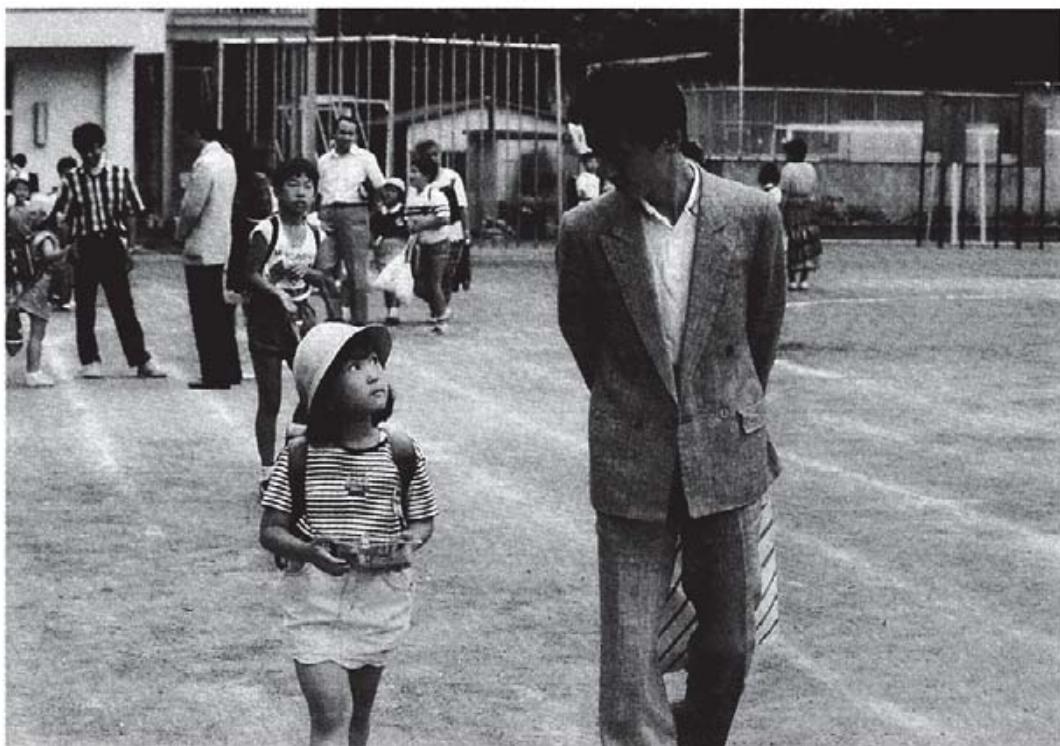
「係」を望むようになり、逆に成績が悪い者は「おこづかいや物への欲求」「旅行・遊び」「成績がよくなりたい」「現在のよい暮らし」への

願いがわずかだが増加する。男子は「おこづかいや物」への欲求が、成績の悪い者にふえている。

表15 3つのお願い×成績・性別

	男 子			女 子			(%)
	とても・ わりと得意	ふつう	とても・ 少し苦手	とても・ わりと得意	ふつう	とても・ 少し苦手	
魔法使い・空をとびたいなどの空想	27.5	23.7	25.9	21.8	26.0	25.8	
おこづかいや物がほしい	15.5	18.5	19.7	15.1	15.6	17.5	
抽象的なお願い（世界の平和・みんなの願い、交通事故にあいたくない、死にたくない、病気になりたくない）	15.2	15.5	14.2	17.3	13.7	12.3	
旅行・遊び（外国に行きたい）	5.0	7.7	5.6	7.4	8.8	9.3	
お金持ちになるなど将来の豊かな生活（将来大きな家に住みたい、社長さんになりたい）	7.8	10.2	9.2	3.7	4.8	4.6	
成績（頭がよくなりたい）	5.8	6.1	5.9	4.1	5.8	7.6	
現在のよい暮らし（大きな家に住みたい、勉強部屋を持ちたい）	4.7	3.2	4.7	5.2	5.4	6.4	
将来つきたい仕事（パイロット、スチュワーデス）	5.3	2.5	3.4	8.1	3.8	3.1	
身体的・性格（背が10cm伸びたい、まじめになりたい、やせたい、美人になりたい）	1.9	2.7	2.8	4.4	3.6	3.6	
友だち関係（いじめられたくない、友だちがほしい、異性の友だち）	0.0	0.1	0.4	3.7	2.3	1.9	
受験（望みの学校に入りたい）	1.1	0.5	0.1	0.3	0.3	0.4	
その他（おばあちゃんの病気が治るよう、スポーツ、世界を征服したい、祖父母の長生き）	10.2	9.3	8.1	8.9	9.9	7.5	

### 3. おとなへのお願い



自由記述の中から子どもたちの「願い・欲求」を見てきたわけだが、ここで「父親、母親・先生」など、子どもの一番近いところに

いるおとなたちへの「お願い」を、一般的な方  
式、すなわち項目を用意して選択させる形で  
見てゆこう。

#### ■ お父さんへのお願い ||||

まず図9は父親へのお願いであり、図10は性別、表16は学年別にそれをみたものである。まず子どもからさまざまな期待がよせられている中で、最も「そう思わない」者が多いのは、「今とちがう仕事だったらよかった」「もっとオシャレをしてほしい」であることがわかる。現在の仕事になりふりかまわず働く姿を子どもは十分受け入れているとみてよさそうだ。しかし一番望まれているのが「もっとお金持ちになってほしい」とてもそう思う32%、少しそう思う24%、合計56%であり、現代っ子らしくやや手厳しいものがある。

その点を性別でみると(図10)、全体としてはやや男子に注文が多く、とくに「もっとお金持ちに」「子どもの気持ちをわかって」「デパートやレストランに連れていく」には女子との間にかなりの差が見られる。

また学年別では(表16)多くの項目で、学年の上昇と共に「とてもそう思う」者の割合が減少している。このような父親に多くを期待しなくなる傾向は、父親の立場への理解が進むのか、それとも父親を見捨てるのか(父親離れをするのか)、どちらだろうか。

図9 お父さんへのお願い

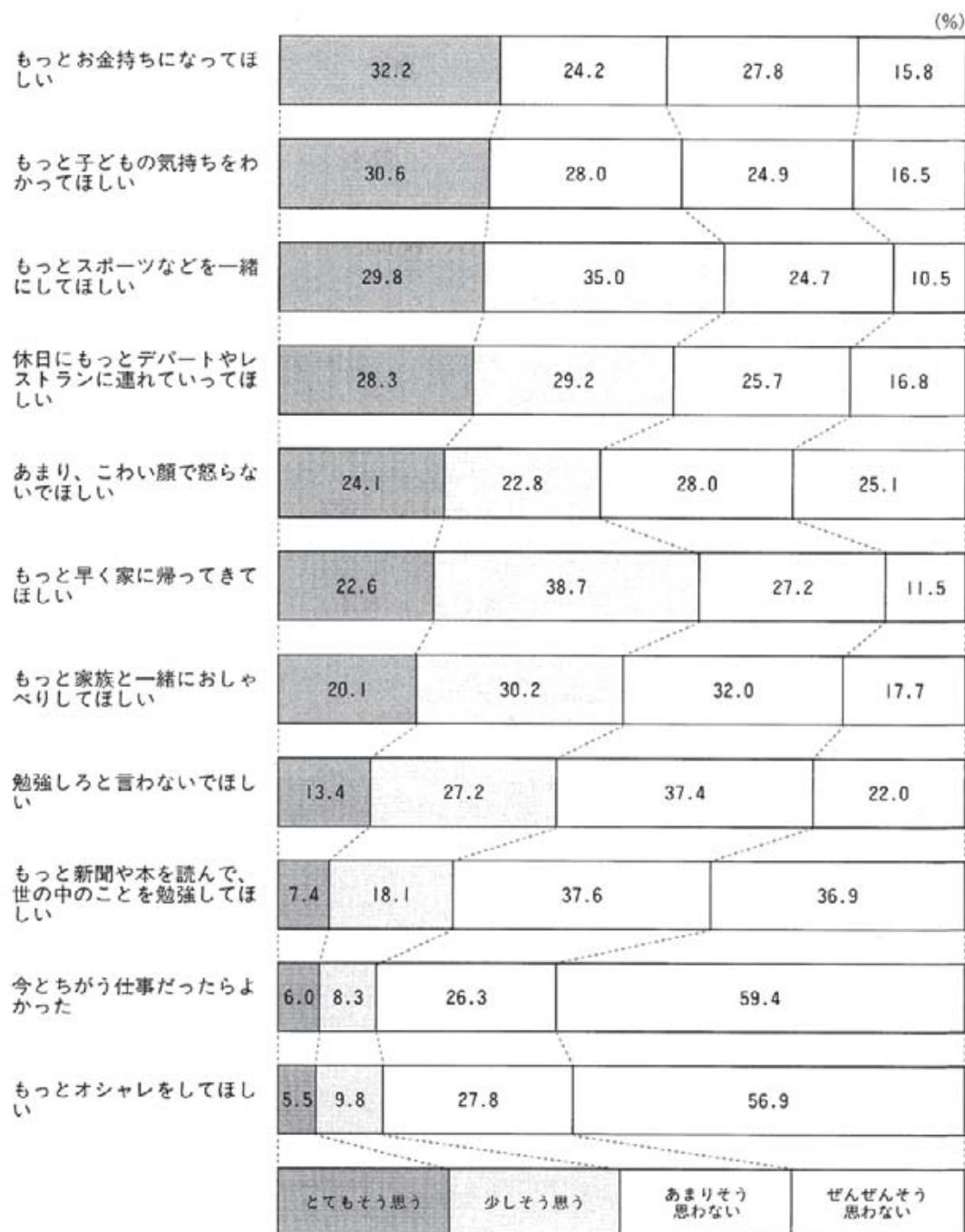
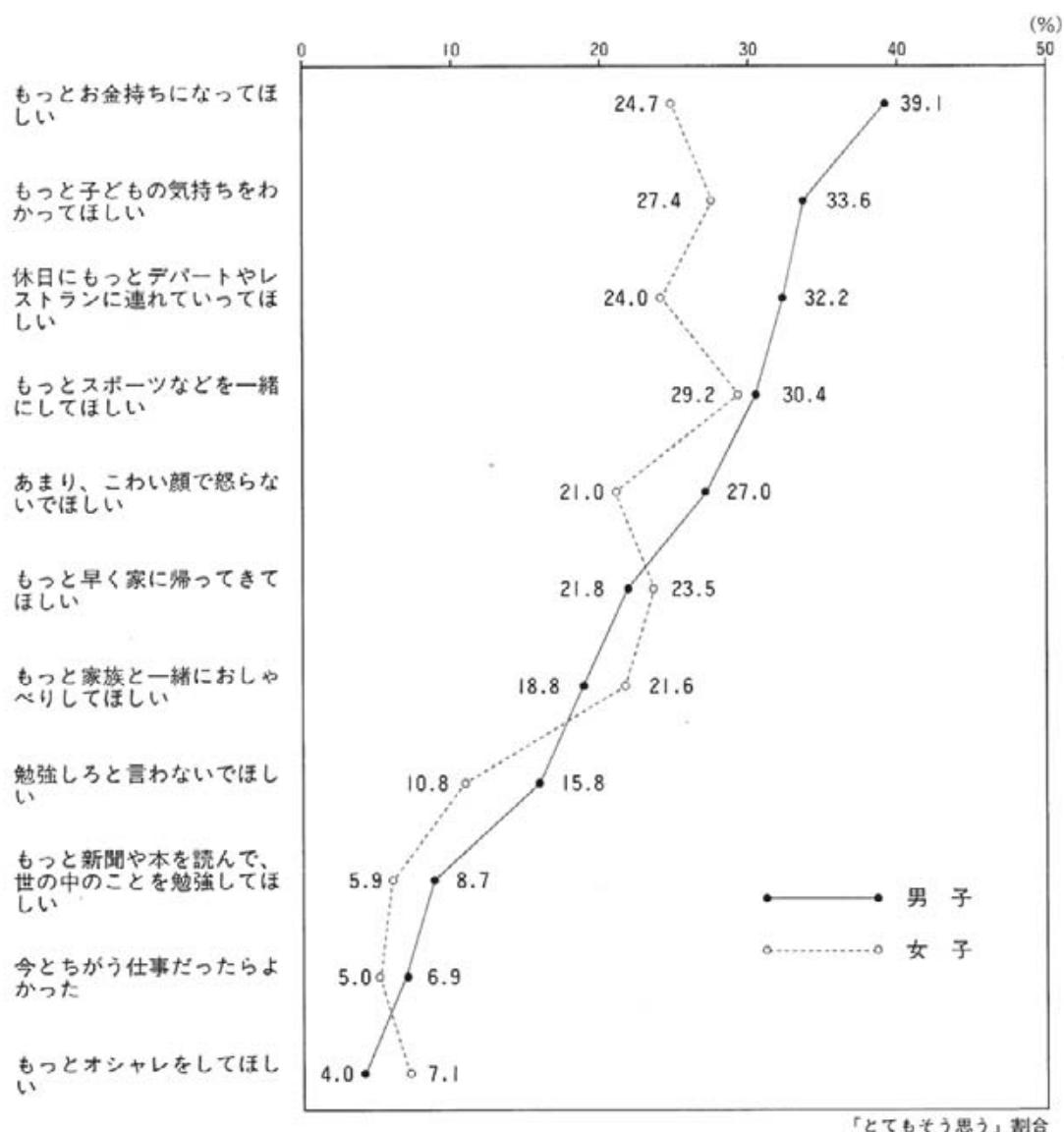


図10 お父さんへのお願い×性別



「とてもそう思う」割合

表16 お父さんへのお願い×学年

(%)

	全 体	4 年 生	5 年 生	6 年 生
もっとお金持ちになってほしい	32.2	33.0	27.1	37.9
もっと子どもの気持ちをわかってほしい	30.6	33.7	29.3	29.3
もっとスポーツなどを一緒にしてほしい	29.8	43.0	28.5	19.5
休日にもっとデパートやレストランに連れていってほしい	28.3	35.0	27.6	22.9
あまり、こわい顔で怒らないでほしい	24.1	32.1	22.5	18.9
もっと早く家に帰ってきてほしい	22.6	32.1	21.3	15.5
もっと家族と一緒におしゃべりしてほしい	20.1	28.6	18.5	14.4
勉強しろと言わないでほしい	13.4	13.4	13.5	13.3
もっと新聞や本を読んで、世の中のこと を勉強してほしい	7.4	9.7	6.5	6.4
今どちがう仕事だったらよかった	6.0	6.7	5.3	6.2
もっとオシャレをしてほしい	5.5	4.7	3.9	8.2

「とてもそう思う」割合

## ■ お母さんへのお願い

では母親にはどうか(図11)。父親の項目とは多少入れ替えてあるが、父親と同様下位項目を拾ってみると「あまり外に出かけないで」「仕事をやめて」「もっとオシャレをしてほしい」である。社会参加や仕事での外出は、有職主婦のみならず、専業主婦でも日常的になりつつあるが、子どもたちはそれらに対して許容的であることがわかる。また父親には「もっとお金持ちになって」が第1位だったようだ。母親には「もっとおこづかいをふやしてほしい」である点は、共通している。豊かな時代といわれている中で、子どもはお金で買える何をほしがっているのだろうか。

表17は、自由記述の中で「両親が何でもほしいものを買ってあげると言ったら、何を買ってもらいたいか（高価でもよい）」とたずねた結果だが、思ったよりあげられた品物は多くない。「大きな家（自分の部屋）」等の、庶民にはほとんど難しいものを除くと、子どもは本当に「お金をほしい」とか、「おこづか

いを多く」と心から望んでいるのだろうか。他に対してほしいものがないから、とりあえず何でも買える「お金」を望むのではないかという気もする。

次に図12は性別でみたものだが、男子のほうに期待が大きい。父親に対するお願いにもその傾向はあったが、母親に対するお願いのほうがより顕著である。女子のほうが親への適応性が高いとみてよいのだろうか。

次に表18は学年差である。ほとんどの項目で、父親同様期待が低くなっているが、「もっとおこづかいを」「細かいことをうるさく言わないで」だけは6年生に大きく数値が増加している。自立への一步が始まっているのだろう。

また表19は、母親の職業との関連である。わずかな差はあるが、職業形態別に最大値に○をつけてみると、やはりフルタイムの有職主婦に最も「お願い」が多く、専業主婦には比較的数値が低い傾向が見られる。

図11 お母さんへのお願い

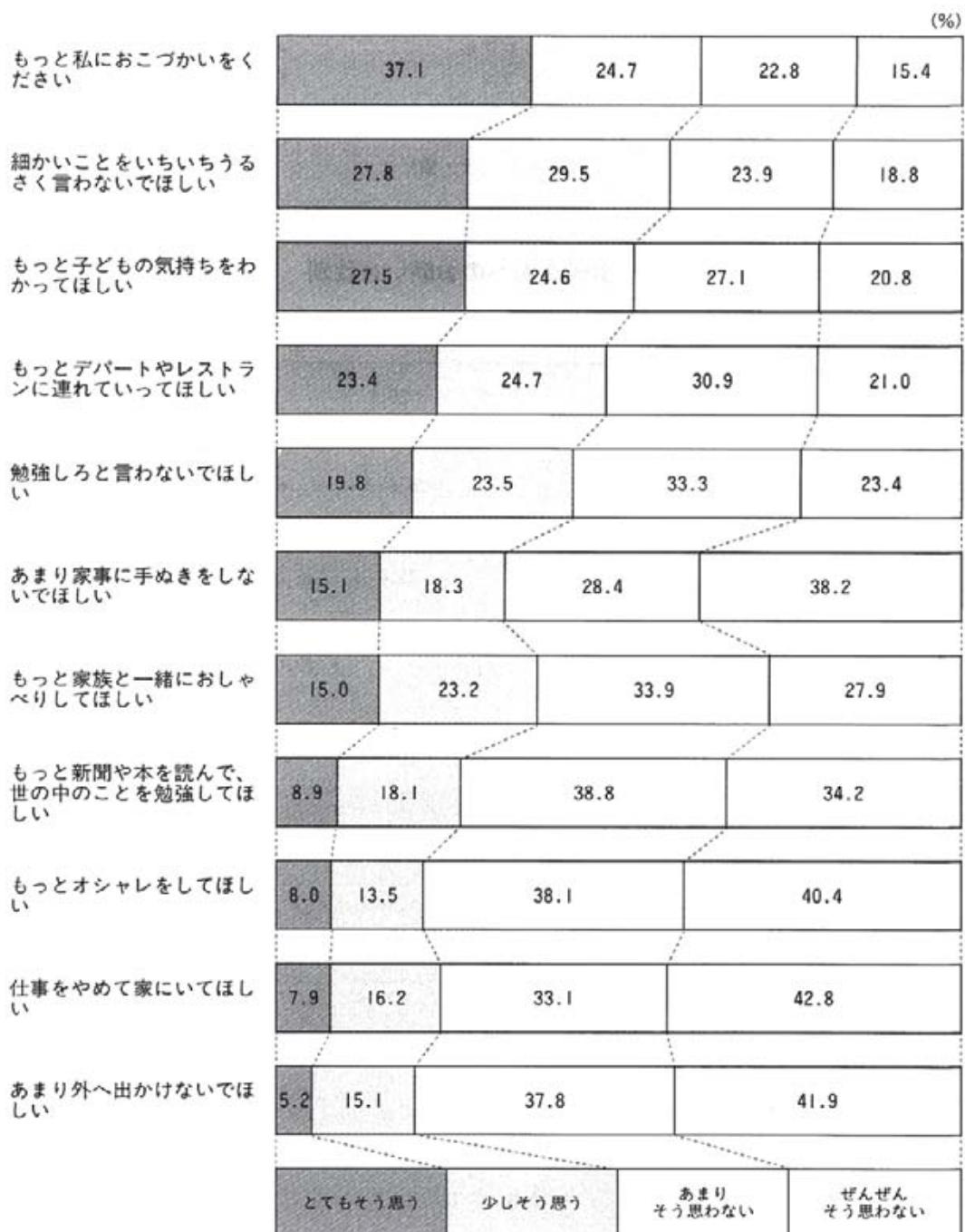


表17 今一番買ってほしい物

・家・広い家・大きな家・土地	・ビデオデッキ	・洋服
・自分の部屋	・ファミコン	・おいしいお菓子
・ピアノ(グランドピアノ)	・ファミコンのソフト	・マンガ
・エレクトーン	・プラモデル	・ぬいぐるみ
・ダイヤモンド	・ラジコン	・おこづかい
・車・自転車・外車	・P C エンジン	・天体望遠鏡
・新しい机	・ステレオ	・ペット(犬・猫)
・ビデオ		

図12 お母さんへのお願い×性別

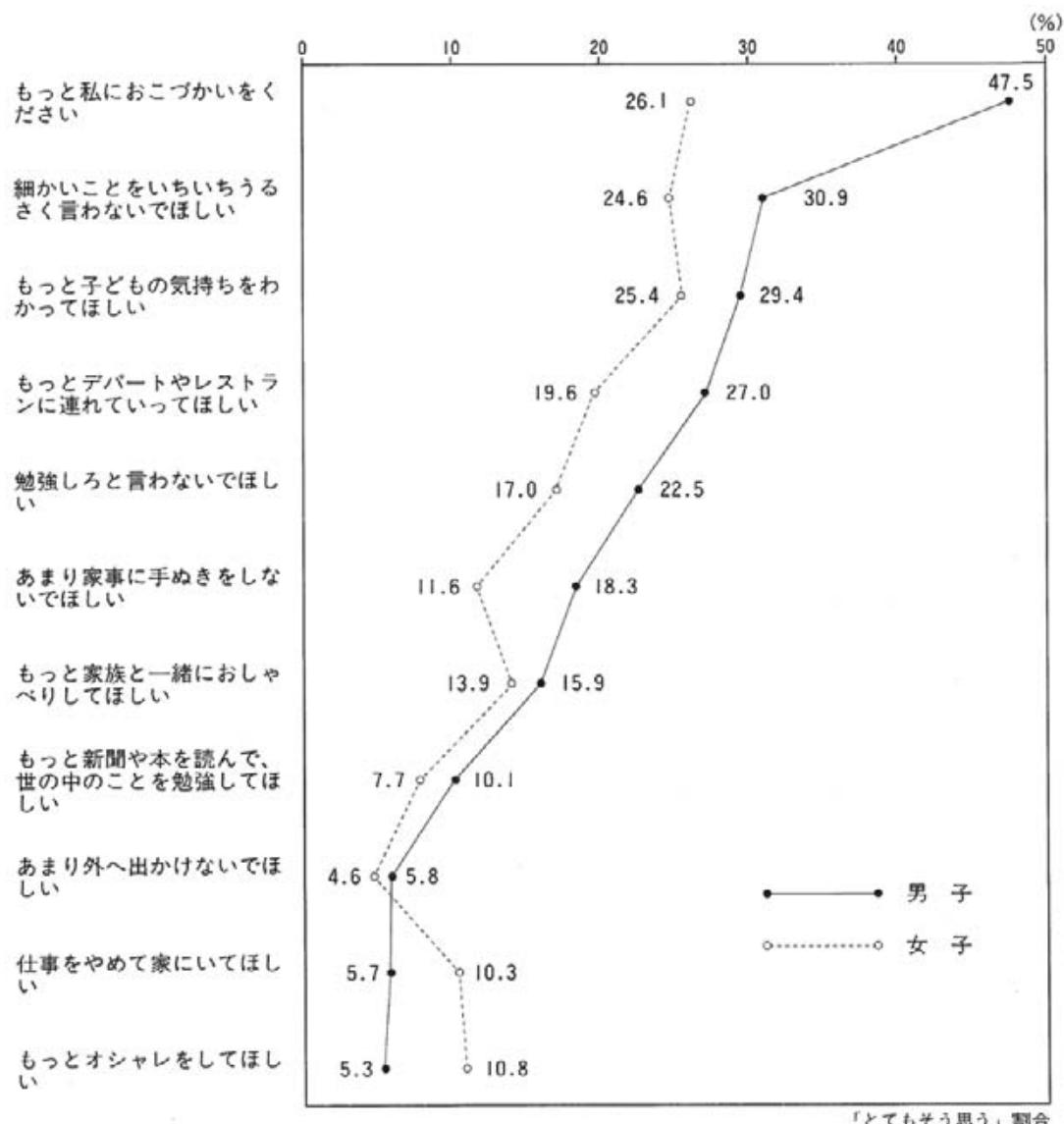


表18 お母さんへのお願い×学年

(%)

	全 体	4 年 生	5 年 生	6 年 生
もっと私におこづかいをください	37.1	35.8	34.2	41.9
細かいことをいちいちうるさく言わないでほしい	27.8	27.7	24.2	32.5
もっと子どもの気持ちをわかってほしい	27.5	28.7	27.6	26.4
もっとデパートやレストランに連れて行ってほしい	23.4	28.7	21.6	20.9
勉強しろと言わないでほしい	19.8	20.1	18.7	21.2
あまり家事に手ぬきをしないでほしい	15.1	16.1	15.1	14.2
もっと家族と一緒におしゃべりしてほしい	15.0	20.2	14.5	10.7
もっと新聞や本を読んで、世の中のこと勉強してほしい	8.9	11.2	8.5	7.4
もっとオシャレをしてほしい	8.0	9.0	6.3	9.2
仕事をやめて家にいてほしい	7.9	12.3	7.8	4.4
あまり外へ出かけないでほしい	5.2	9.4	4.1	2.8

「とてもそう思う」割合

表19 お母さんへのお願い×母親の職業

(%)

	全 体	お店を やっている	パート タイム	フル タイム	家事	その他
もっと私におこづかいをください	37.1	33.8	(39.3)	(40.9)	33.2	37.7
細かいことをいちいちうるさく言わ ないでほしい	27.8	27.3	(28.8)	(28.3)	27.5	24.6
もっと子どもの気持ちをわかってほ しい	27.5	29.9	27.7	(30.5)	25.4	26.1
もっとデパートやレストランに連れ ていってほしい	23.4	15.6	24.1	(26.8)	21.2	24.6
勉強しろと言わないでほしい	19.8	19.5	(21.9)	19.9	17.4	21.7
あまり家事に手ぬきをしないでほしい	15.1	14.3	11.6	(18.0)	14.2	18.3
もっと家族と一緒におしゃべりして ほしい	15.0	13.2	14.2	(16.4)	13.4	14.9
もっと新聞や本を読んで、世の中の ことを勉強してほしい	8.9	6.5	8.8	(10.7)	9.2	6.4
もっとオシャレをしてほしい	8.0	(11.7)	9.2	8.6	6.1	7.5
仕事をやめて家にいてほしい	7.9	(12.5)	6.0	8.0	5.7	10.6
あまり外へ出かけないでほしい	5.2	3.9	4.0	4.9	(5.5)	(5.7)

「とてもそう思う」割合

## ■ 先生へのお願い III

では先生に対するはどうか。図13によれば、「もっとオシャレをして」を除いた項目は、それほど差がない。しかし、中では「宿題をへらして」が「とてもそう思う」が34%、「少しそう思う」が24%と、6割近い子がそれを望んでいる。また「ひいきしないで」が第2位とはなぜだろう。教師が職業人として、子どもが思うほど「ひいき」をしているとは思えない。少子化時代に甘やかされて育った子どもたちが、自分中心でないと「他人をひいきする」ととってしまうのだろうか。また性別でみた図14では「もっと一緒に遊んで」を除く全ての項目で、親と同様、男子に期待や要求が強くなっていて、その差はかなり顕著である。次の表20によれば、学年の上昇と共に「宿題をへらして」「一緒に遊んで」は減少

し、逆に「ひいきしないで」が増加する。例によって6年生で急に増加するのが、「あまり叱らないで」「もっとわかりやすく教えて」となる。宿題と同様、教師には親や友人ではなく「教師」であることを要求するようになってゆくことがわかる。思春期的な特性の1つ、干渉を拒否する態度が6年生になると顕著になるのだろう。

また表21は、成績との関連をしたものだ。「とてもそう思う」数値を拾い出したが、成績の悪い子どもたちが「もっと宿題をへらして」「もっとわかりやすく教えて」「ひいきしないで」「あまり叱らないで」と要求が大きい。成績のよい子は「一緒に遊んで」と教師に友人関係を求めているかのようである。これはどう解釈したらよいのだろう。

図13 先生へのお願い

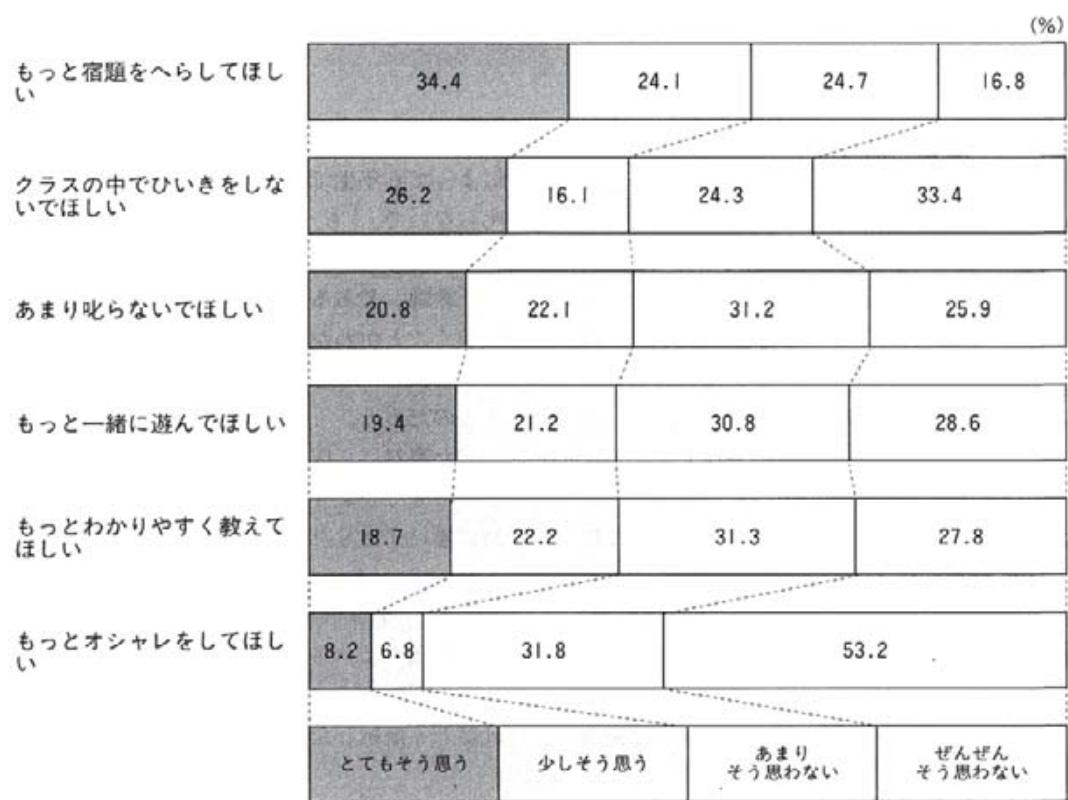
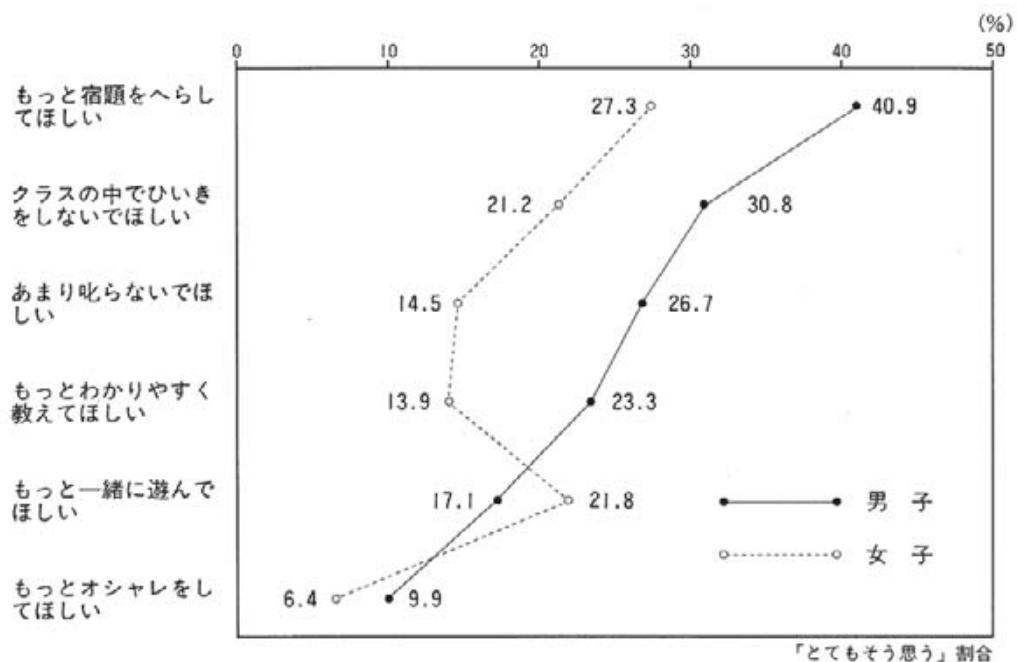


図14 先生へのお願い×性別



## 3.おとなへのお願い

表20 先生へのお願い×学年

	全 体	4 年 生	5 年 生	6 年 生	(%)
もっと宿題をへらしてほしい	34.4	39.0	32.6	32.5	
クラスの中でひいきをしないでほしい	26.2	19.3	25.5	33.3	
あまり叱らないでほしい	20.8	20.1	19.1	(23.5)	
もっと一緒に遊んでほしい	19.4	25.1	21.4	11.5	
もっとわかりやすく教えてほしい	18.7	17.8	16.4	(22.6)	
もっとオシャレをしてほしい	8.2	7.7	9.6	7.0	

「とてもそう思う」割合

表21 先生へのお願い×成績

	全 体	とても・ わりと得意	ふつう	とても・ 少し苦手	(%)
もっと宿題をへらしてほしい	34.4	32.1	29.6	(40.4)	
クラスの中でひいきをしないでほしい	26.2	25.0	22.9	(30.5)	
あまり叱らないでほしい	20.8	19.4	16.7	(25.8)	
もっと一緒に遊んでほしい	19.4	(22.5)	18.8	18.3	
もっとわかりやすく教えてほしい	18.7	13.4	15.0	(25.2)	
もっとオシャレをしてほしい	8.2	11.0	7.0	8.6	

「とてもそう思う」割合

## ■ 総理大臣へのお願い

統いて総理大臣へのお願いをたずねてみた。例えばアメリカでは市長や大統領などの政治家は、子どもたちにとっても魅力ある親愛感のもてる対象のように見受けられる。政治家自身も、人びとに（むろん子どもたちにも）自分の人間的な側面をアピールしようとする。

しかし日本の政治家は、人気がない。おとなにも子どもにもである。その一端がここにも表れている。この欄への記述は少なく、内容も何となく空虚で、借り物のような言葉が並んでいるようである（表22）。

表22 総理大臣へのお願い

- |                      |                              |
|----------------------|------------------------------|
| • 消費税をなくしてほしい        | • 私の「じいや」（召使いのこと）にな<br>ってほしい |
| • お金をもっとください         | • 3日間だけ天皇にして                 |
| • 世界の平和を             | • 休みをふやして                    |
| • 戦争をしないでほしい         | • 悪いことをしても刑務所に入らないよう<br>にして  |
| • 地球にいる人が皆、平等であってほしい | • 義務教育なのに評判の悪い中学校を差別<br>しないで |
| • お父さんを社長にしてほしい      | • 世界中の貧しい子どもたちが少しでも裕<br>福に   |
| • 日本の領土を返して          | • 恵まれない子に愛の手を                |
| • 私のおじいさんになってほしい     |                              |
| • 私のお父さんになってほしい      |                              |
| • 受験とかしないで学校に入れるように  |                              |
| • 緑をもっとふやしてほしい       |                              |
| • 家の大きいのがほしい         |                              |

## 4. 周囲の人びとへの不満



人は大小の集団の中で暮らす。集団の中にいれば、必ず人間関係が生まれ、時にその中でもギクシャクしたものが生じる。子どもの

期待や欲求との関連で、その点についても少し語ってみよう。

### ■ 異性に対する不満と反発 III

表は「クラスの女子（男子）に対して、希望することや文句がありますか」と異性に対する不満を自由記述させた内容である。頻度は除いて内容のみを掲げた。

まず表23は、男子が女子に希望することの内容である。この内容を見ていると、「弱い性」は現代では女子ではなく、男子に移ったのではないかとさえ思わせられるクレームが並んでいる。「むやみにたたかいで」「乱暴しないで」「先生に言いつけないで」等々である。「ひいきされないようにして」「ぶりっ子をし

ないで」「でしゃばらないで」「へんなあだ名をつけないで」等も、この種の弱い性からの注文のように解釈できるのではなかろうか。

逆に表24によれば、女子から男子への不満は「ぶったりけったりしないで」「男だからといって、いばらないで」などの抗議はあるものの、「汚いやつは寄ってこないで」「ツツツいやみを言わないで」「かっこよくなって」「もっと素直になって」など、むしろ上位者から下位者へ対しての注文のような内容が並んでいるのがおもしろい。

表23 男子からクラスの女子へ

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| • むやみにたたかいで        | • ぶりっ子しないで      |
| • 亂暴しないで           | • ひいきをされないようにして |
| • すぐ暴力をふるわないで      | • 忘れ物をしないで      |
| • 文句を言わないでほしい      | • 奴隸扱いはやめて      |
| • でしゃばらないでほしい      | • あつかましい        |
| • すぐ先生に言いつけないで     | • センスがない        |
| • へんなあだ名をつけないで     | • もっときれいな顔になって  |
| • 死んでほしい           | • バカ            |
| • かけでこそこそ話をしないでほしい | • むかつくな         |
| • じゃまだから学校に来ないで    | • おせっかいしないで     |
| • おしゃべりがうるさい       | • 人の悪口を言わないで    |

表24 女子からクラスの男子へ

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| • ぶつたりけったりしないで      | • 皆と仲よくしてほしい       |
| • 男だからといって、いばらないで   | • やることはきちんとやってほしい  |
| • 汚いやつは寄ってこないで      | • エロイことをしてほしくない    |
| • もっと素直になって         | • 男女差別しないで         |
| • ブツブツいやみを言わないで     | • 何か教えるときはやさしく     |
| • もっとオシャレして、かっこよくして | • もう少し静かにしてほしい     |
| • バカヤロー             | • いちいち文句を言わないで     |
| • ウソを言わないで          | • そうじをきちんとやってほしい   |
| • あまり人の体のことを言わないで   | • しっかりしろ           |
| • 少しまちがったくらいで笑わないで  | • テストの点を大きい声で言わないで |

## ■両親から言われて傷ついた言葉||||

「あなたが、お父（母）さんから叱られた  
り文句を言われて、これまで一番いやだった  
言葉」をたずねた結果を表25、表26にまとめ  
た。

まず父親について見ると、「勉強しろ、宿題  
しろ、頭悪いな」などの勉強に関するものは  
ともかく、「出ていきなさい」「うるさいから、  
どっかへ行け」「死ね」「バカヤロー」「チビだ

なあ」など、親というものはわが子だと思つてずいぶんと暴言を吐いているものである。また母親も同様で、「そういうのをバカというんだよ」「将来ろくな人間にならない」「中学

校へ行けなくなるからね」「早く家から出ていきなさい」「家の中に一生入ってくるな」「特技が1つもないわね」など、父親以上に残酷な言葉を吐くものだという気がする。

表25 お父さんから言われた一番いやな言葉

• バカヤロー	• ごちゃごちゃ言ってないで、はっきり言え
• チビだなあ	• もっと静かに階段を歩け
• 死ね	• もう少し家中をきれいにしなさい。この家は女3人だから
• その態度は何だ	• もっと勉強しろ
• うるさいから、どっかへ行け	• 宿題しろ
• 出ていきなさい	• 何度も言つても叱られるようなことをやるんだ
• 頭悪いな	• もう5年生なんだから、そのくらいわかるだろ
• 早く寝ろ	• お前なんか用はない。出でていけ
• もっと素直になれ	• お父さんは子どものときから頭がよかったんだぞ
• よその子を見習え	• (一言一言全部いや)
• バカは死ななきゃなおらない	
• お前は動物より知能が低い	

表26 お母さんから言われた一番いやな言葉

• 特技が1つもないわね	• 早く食べなさい
• 将来ろくな人間にならない	• 手伝いをしなさい
• そういうのをバカというんだよ	• (夜女の子が一人で出かけるのはいけないことだと言ったのに)「お父さんを仕事場まで迎えにいきなさい」と夜言ったこと
• 家の中に一生入ってくるな	• 私は左利きで、親戚にバカにされないように一生懸命直そうとして、やっと右で書くことができるようになったとき、「そんなバカバカしいこと」と言われた
• 早く家から出ていきなさい	• クラスで一番字が下手なんだから
• お前はチビなんだからね	• うるさいわねえー、たいして頭もよくないのに
• 中学校へ行けなくなるからね	• (ご飯ぬき)
• もう少し強くなりなさい	• (一言一言全部いや)
• 他人のこと口出ししないで	
• 早く寝なさい	
• グチグチしないで	
• 肥満児(ブタ)	
• きょうだいの中で一番バカよ	
• バカじゃないの	



## まとめに代えひ

子どもたちは、自分自身にも周囲のおとなたちにも、自分が何を願い何を望んでいるか、本当にわかっているのだろうか。聞かれれば、自分にはとりあえず「勉強のできる子に」であり、親には「お金を」である。確かにそれは現代の2大価値とも言えそうだ。しかし実は彼らは、人生で何を望んでよいか、よくわからないままにいるのではなかろうか。人生

で何が望む価値のあるものか——これはいつの時代も永遠のテーマであり続けるだろうが、子どもに「成績」と「お金」とを望ませているのは、とりもなおさずわれわれおとなたちの作り上げている社会なのだと思うと、これでよいのだろうかと、どこか心痛む思いがする。

